



Facet Cloud

サービス操作説明書

Ver 4.0

DataScope, Inc.2023



改訂履歴

改訂履歴	発行日	対応 API 製品バージョン
Ver.1.0	2021/04/01	Ver1.0
Ver 2.0	2021/05/06	Ver2.0
Ver 2.1	2021/10/18	Ver2.1
Ver 2.5	2022/01/26	Ver2.5
Ver 3.1	2022/04/15	Ver3.1
2.利用開始手引きの追加	2022/07/20	Ver3.1
Ver 3.5	2022/08/04	Ver3.5
Ver 4.0	2023/01/10	Ver4.0

目次 —CONTENTS—

1. はじめに.....	8
1-1. 「Facet Cloud」について.....	8
1-2. 関連ドキュメント.....	8
1-3. サービス活用イメージ	8
1-4. サポートについて.....	8
2. facetCloud の利用開始するために	9
2-1. facetCloud にログインをする.....	9
2-2. facetCloud ヘドバイス登録する.....	9
2-3. Face FC を設定する.....	10
2-4. 接続確認	10
2-5. Face FC と接続ができないときは.....	10
2-6. WebAPI のテストページへログインをする	12
2-7. WebAPI を利用する.....	13
3. 機能概要.....	14
3-1. 推奨ブラウザ／PC スペック	14

3-2. 機能一覧	14
3-3. 画面一覧	15
4. ログイン	17
4-1. ログイン／ログアウト	17
4-2. パスワード変更	17
5. トップ画面（ダッシュボード）	18
6. リアルタイムモニタ	19
6-1. コレクションビュー	19
6-2. リスト形式	19
7. ログ一覧	20
8. ユーザー登録・変更	22
8-1. 新規ユーザー登録	22
8-2. ユーザー情報一覧・変更	23
8-3. 一括ユーザー登録	24
8-4. ユーザーデータのエクスポート	25
8-5. カメラデータ移行・当て変え	26

8-6. カメラデータの移行・当て替え(個別ユーザーに対する割り当てカメラの変更(削除・追加))	27
9. 端末設定.....	28
9-1. 端末画面タブ一覧	28
9-2. カメラグループ設定	28
9-3. カメラ設定	29
9-4. 認証関連基本設定・更新	30
9-5. 認証関連設定割当	35
9-6. システム基本設定・更新	36
9-7. システム設定割当	37
9-8. アラーム設定	38
10. ログイン ID 管理	40
10-1. 権限作成	40
10-2. 新規登録	41
10-2. 変更・削除	42
11. 端末メンテナンス	43
11-1. カメラ接続初期化	43

11-2. カメラ新規登録	44
11-3. カメラ削除	45
12. 操作ログ	46
12-1. facet ログ.....	46
12-2. FaceFC ログ.....	47
13. facet 設定	48
13-1. facet バージョン.....	48
14. 【オプション】APB 機能（APB モード）	49
14-1. APB 機能とは	49
14-2. APB の設定.....	51
14-3. APB ログ一覧.....	54
14-4. APB モード動作時のカメラ画面表示について.....	54
15. 【オプション】入退管理（入退管理モード）	55
15-1. 「入退管理機能」とは	55
15-2. 「区分」の登録.....	58
15-3. 「カメラ機能」の登録	60

15-4. 入退管理画面について	61
15-5. 「入退管理機能」による既存機能への影響	62
16. AI カメラと facetCloud を連携する	63
16-1. AI カメラへ SD カードを入れる	63
16-2. Web 管理画面上での初期設定	63
16-3. WebSocket の接続	69
16-4. AI カメラで利用できる機能	70
17. TeamSpirit 連携	71
17-1. TeamSpirit 連携との連携について	71
17-2. 勤怠ログ一覧	73
17-3. 連携用アカウント情報設定	75
18. お問い合わせ先	75

1. はじめに

1-1. 「Facet Cloud」について

「Facet Cloud」(以降、「本サービス」と記載)は、株式会社データスコープ(DataScope, Inc. (以下、「当社」または「弊社」といいます))の登録商品です。

Face FC 端末の情報をクラウド上に蓄積し、Web ブラウザで閲覧することができるサービスです。

※本サービスの利用効果を得るためには、Face FC 端末の設置が必要です。Face FC 端末の設置方法、接続設定については Face FC 端末の操作マニュアルをご参照ください。

1-2. 関連ドキュメント

表 1-1 関連ドキュメント一覧

SQ	ドキュメント名	内容	本仕様書での呼称
1	利用規約	本サービス契約利用に関する一切の事項に適用される約款	記載なし
2	サービス概要書	本サービスの基本概要をまとめたもの	記載なし
3	操作マニュアル	管理ポータルの操作方法を記載したもの	本マニュアル
4	プライバシーポリシー	本サービスの運営に伴う情報取扱いポリシー	記載なし

1-3. サービス活用イメージ

本サービスをご利用いただくと、Face FC 端末にて取得可能な情報を、Web 上のインターフェースで直感的に閲覧・把握することができます。Face FC にて取得可能な情報を利用して、施設利用者に対する個人認証や、通行許可／不許可を判定できる他、温度検査、マスク着用有無、従業員の勤怠管理などを一元的に管理することができます。

1-4. サポートについて

- ◆ 本サービスに関するお問い合わせは、営業ご担当者様までお問い合わせください。
- ◆ 窓口時間帯：各販売代理店の営業時間

2. facetCloud の利用開始するために

本サービスを利用するためには、FaceFC 端末を facetCloud に接続する必要があります。本手引きをご確認いただきながら、FaceFC 端末との接続を実施してください。なお、接続する際には「設定通知書」が必要となります。「設定通知書」は、本サービスに対する利用申請書をご提出いただくことで発行されます。弊社営業担当より受領されましたら、通知書を確認いただきながら進めてください。

2-1. facetCloud にログインをする

まず、本サービスに対してログインを行います。（確認する設定通知書の箇所「WebUI」 図 2-1-1）

■WebUI	
URL	https://xxx.facet-cloud.com/ui1/
Admin ID	testID
Admin 初期PW	testPass123

図 2-1-1

1. ブラウザを開き、URL 入力フォームへ設定通知書の「URL」（図 2-1-1）を入力してログインページを開きます。

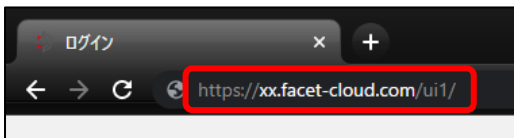


図 2-1-2

※利用するブラウザについては、本マニュアルの「3-1. 推奨ブラウザ／PC スペック」を参照してください。

2. ログインページが表示されたらログインを行います。

ログイン方法については、本マニュアルの「4-1. ログイン／ログアウト」を参照してください。

なお、「ユーザーID」は設定通知書の「Admin ID」、「パスワード」は同じく設定通知書の「Admin 初期 PW」を入力してください。

（図 2-1-1）

2-2. facetCloud ヘデバイス登録する

1. 次に接続を行いたい Face FC 端末のシリアル No を facetCloud に登録を行います。

登録方法については、本マニュアル「11-2. カメラ新規登録」を参照してください。

2. 登録ができているかの確認を行います。確認方法については、本マニュアル「9-3. カメラ設定」を参考にカメラの検索を行い、該当のシリアル No がヒットすることを確認してください。

※利用申請書にてデバイス登録を事前に依頼されている場合は（設定通知書（別紙）にシリアル番号が記載されている場合）、既に facetCloud にシリアル No の登録が完了しているため、本手順は不要になります。

2-3. Face FC を設定する

1. FaceFC の設定を行います。「FaceFC 操作マニュアル（温度検知、顔認証デバイス操作説明書）」にある「facetCloud セットアップ」を参照して、facetCloud と接続を行うための設定を実施してください。

※設定通知書の「FaceFC WebSocket 登録 サーバーアドレス」図 2-3-1）の情報が必要になります。

■FaceFC WebSocket登録 サーバーアドレス	
サーバーアドレス	wss://xxx.facet-cloud.com/ws/device

図 2-3-1

2-4. 接続確認

1. 本サービス（WebUI）の「端末設定」→「カメラ設定」から、接続している FaceFC を検索して、「ver 番号/型番」の「取得」ボタンをクリックします。
2. 「取得」クリック後に「バージョン番号」と「最終取得日時」が更新されることを確認できれば、facetCloud との接続完了です。

※本マニュアル「9-3.カメラ設定」の「カメラ端末のバージョン取得・登録情報編集」に詳しく記載されていますので参照ください。

型番	バージョン番号	最終取得日時	ver番号/型番	編集
STD-5MA0721-E-JD05	1.396.11.68.T	2022-02-03 09:50:36	取得	編集
STD-5MA0721-E-JD05	1.396.11.80.T	2022-02-08 18:20:00	取得	編集
STD-5MA0721-E-JD05			取得	編集

図 2-4-1

2-5. Face FC と接続ができないときは

下記の手順に沿ってトラブルシューティングを行ってください。

【1】 FaceFC が facetCloud と接続可能なネットワーク状態になっているかを確認

1. FaceFC が facetCloud サーバーと接続が可能か（インターネット接続ができているか）を確認してください ※1

※1 「FaceFC 操作マニュアル（温度検知、顔認証デバイス操作説明書）」の「facetCloud と接続できないときは」参照

【2】 facetCloud に登録されているシリアル No が間違っていないか確認

1. facetCloud に表示（登録）されているシリアル No が、接続しようとしている FaceFC と同値であることを確認ください。 ※2
2. 誤っている場合は、facetCloud から該当のシリアル番号を削除、正しいシリアル番号にて再登録を行ってください。 ※3

※2 本マニュアルの「9-3.カメラ設定」参照

※3 本マニュアルの「11-3.カメラ削除」、「11-2.カメラ新規登録」参照

【3】【1】,【2】ともに問題無い場合は、下記手順を実施してください

1. facetCloud にて該当シリアル No の接続初期化を行う ※4
2. FaceFC の再設定を行う ※5
3. FaceFC の再起動を実施する ※6

※4 本マニュアルの「11-1.カメラ接続初期化」参照

※5 「FaceFC 操作マニュアル（温度検知、顔認証デバイス操作説明書）」の「facetCloud セットアップ」参照

※6 「FaceFC 操作マニュアル（温度検知、顔認証デバイス操作説明書）」の「システム管理」参照

上記を実施しても接続できない場合は、弊社営業担当までご連絡ください。

2-6. WebAPI のテストページへログインをする

本サービスの WebUI で利用できる、人物の登録・削除やログの閲覧（取得）などは、WebAPI からでも同様の操作を行うことができます。WebAPI の利用に必要な情報は、設定通知書に記載されています。本サービスでは、WebAPI の動作確認を行うためのテストページをご用意しております。利用される場合は下記手順に沿って進めてください。

※WebAPI 利用時は設定通知書の「WebAPI」を参照します。（図 2-6-1）

■WebAPI	
APIトークン	Test1234567890abcdefg.....
テストページURL	https://xxx.facet-cloud.com/api1/tool/
テストページID	apiTestID
テストページPW	apiTestPass

図 2-6-1

1. ブラウザを開き、URL 入力フォームへ設定通知書の「URL」（図 2-6-1）を入力してログインページを開きます。

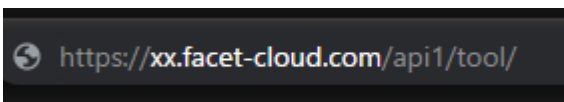


図 2-6-2

2. URL を開くと ID/パスワード入力を求められる（図 2-6-3）ので、「テストページ ID/PW」を入力して「ログイン」を押します。

ログイン

https://xx.facet-cloud.com

ユーザー名

パスワード

ログイン キャンセル

図 2-6-3

3. ログイン後 WebAPI の画面（図 2-6-4）が開かれればログイン成功です。

Common-Paramters

ds-api-token:

json-debug:

serialNo:

localStorageSaveName:

Save localStorage Delete localStorage

図 2-6-4

2-7. WebAPI を利用する

WebAPI ページにログインできたら、API を実行してみましょう。

※発行される設定通知書の「API トークン」は 64 文字となります。

※テストページではありますが、基本的にページ内で実行する API は、FaceFC 端末もしくは WebUI への反映/情報取得をする操作となりますので、ご利用される場合は「facetCloud_API 仕様書」をご確認の上、実行してください。

■WebAPI	
APIトークン	Test1234567890abcdefg.....
テストページURL	https://xxx.facet-cloud.com/api1/tool/
テストページID	apiTestID
テストページPW	apiTestPass

図 2-7-1

1. 発行された設定通知書に記載されている「API トークン」（図 2-7-1）を「ds-api-token」へ入力します。

※FaceFC に対して設定を行う API を実行する際は、「serialNo」も必須になります。FaceFC のシリアル番号を入力ください。

Common-Paramters

ds-api-token:

json-debug: 1

serialNo:

localStorageSaveName:

Save localStorage

Delete localStorage

図 2-7-2

2. 実行したい API に必要なパラメータを入力後「submit」をクリックし API を実行します。

※各 API で必須/設定可能なパラメータについては、「facetCloud_API 仕様書」を参照してください。

API-Server /person

/api1/person/getPerson

personCode:

includePicture:

submit

他にも、使用できる API・パラメータ情報や、実行時の返却される値などの詳細情報は「facetCloud_API 仕様書」に記載されています。ご確認いただいた上でご利用ください。

3. 機能概要

3-1. 推奨ブラウザ／PC スペック

◆推奨ブラウザ：Facet Cloud は、以下のブラウザで最適に動作します。

ブラウザタイプ	最適動作ブラウザ
Google	Google Chrome
Microsoft	Microsoft Edge (Chromium)

※上記記載以外のブラウザにては、最適に動作しない可能性があります。

例) Safari, Firefox など

◆推奨動作環境

項目	動作環境	
クライアント PC 環境	OS	Windows 10
	メモリ	4GB 以上
	画面解像度	横：1300 pixel 以上
	その他	通信環境が安定している環境からアクセスしてください。 ブラウザや OS については、最新バージョンを保つようにしてください。

※本サービス(WebUI)上での処理におけるタイムアウト時間は 10 分となります。

3-2. 機能一覧

Facet Cloud では、以下の基本機能をご利用いただくことができます。

1	Face FC 端末の コントロール	本サービスに接続された Face FC 端末設定を行い、各端末を一元的に コントロールすることができます。	本マニュアルすべて
2	人物顔認証	端末が人物として認識した個体の顔画像を記録、識別することができま す。 ※本サービスに接続された FaceFC 端末と情報を連携し、直感的なイン ターフェース上で登録・認証情報を確認できます。	ロガー一覧：第 7 章 ユーザー登録・編集：第 8 章
3	入場者マスク着用 状況把握	本サービスに接続された Face FC 端末と情報を連携し、各端末が認識 した個人のマスク着用状況を各端末の閾値設定と照合させながら、確認 することができます。	リアルタイムモニタ：第 6 章 ロガー一覧：第 7 章 閾値設定：第 9 章(9-3, 9-4)

4	異常発熱検知状況把握	本サービスに接続された Face FC 端末と情報を連携し、各端末が認識した個人の発熱状況を、各端末の閾値設定と照合させながら、確認することができます。	リアルタイムモニタ：第 6 章 ログ一覧：第 7 章 閾値設定：第 9 章(9-3, 9-4)
5	ユーザー登録・編集	本サービスに接続された各端末について、特定個人として識別すべきユーザーを、顔情報と共に登録し、必要に応じてユーザー情報を編集することができます。	ユーザー登録・編集：第 8 章 入退管理：第 15 章
6	ログ一覧	顔認証状況に基づく個人の入場状況一覧を把握することができます。	ダッシュボード：第 5 章 リアルタイムモニタ：第 6 章 ログ一覧：第 7 章 APB 機能：第 14 章 入退管理：第 15 章
7	アラーム発報	特定の条件に合致する個人を認証した場合、アラーム(アラート)を出すことができます。	アラーム設定：第 9 章(9-7)
8	ログイン ID 管理	本サービスにログインするユーザーの管理をすることができます。	ログイン ID 管理：第 10 章
9	Face FC の初期化・登録・削除	本サービス上へ接続されている Face FC 端末の新規登録や削除をすることができます。	端末メンテナンス：第 11 章
10	Face FC 端末及び、本サービスの操作ログ取得	Face FC 端末での操作や本サービスでの操作のログを確認することができます。	操作ログ：第 12 章
11	facetCloud の設定	Facet 内の設定を管理したり、facet のバージョンを確認したりすることができます。	Facet 設定：第 13 章
12	未認証の入退室防止機能(APB 機能)	本サービスに接続されている FaceFC 端末に対して入退室制御を行い、未認証の入退室、および共連れを防止する機能です	APB 機能：第 14 章
13	入退管理と在室確認	ユーザーに対して区分を付与、カメラ登録に入退室を付与し、入退管理及び在室者の確認を行うことができます。	入退管理：第 15 章

3-3. 画面一覧

Facet Cloud には、以下の画面が存在します。

SQ	画面名称	機能内容	本マニュアル参照
1	ログイン画面	本サービスにログインします。	第 4 章(P.16)
2	ダッシュボード	ログイン後最初に表示される、基本画面です。	第 5 章(P.17)

		端末が取得した基本情報を、統計的に眺めることができます。	
3	リアルタイムモニタ	本サービスに接続された端末が、 最後に取得した画像と、取得可能情報を表示します。	第 6 章(P.18)
4	ログ一覧	本サービスに接続された端末が取得した情報一覧を、 閲覧することができます。	第 7 章(P.20)
5	ユーザー登録・編集	ユーザーを登録します。登録されたユーザーは、本サービスに接続された 端末から、顔認証を用いて本人認証を 行うことができます。	第 8 章(P.21)
6	端末設定	本サービスに接続された端末のコントロールや設定を行うことが できます。①カメラ本体やカメラ機能に関する設定、 ②認証条件に関する設定を行うことができます。	第 9 章(P.26)
7	ログイン ID 管理	本サービスにログインするユーザーの作成や編集、削除をすることができます。 また、ユーザーごとの操作権限の作成も行うことができます。	第 10 章(P.38)
8	端末メンテナンス	本サービスに接続されている端末の削除や登録情報の初期化、端末の 新規登録を行うことができます。	第 11 章(P.41)
9	操作ログ	本サービスでの操作や、本サービスに接続されている端末で操作した際 のログを確認することができます。	第 12 章(P.44)
10	Facet 設定	本サービスのバージョンの確認、本サービスの設定変更をすることができます。 す。	第 13 章(P.46)
11	APB 機能	本サービスに接続された FaceFC 端末及びドアと連携し、入退室制 御、ドア開錠制御を行うことができます。 ※本機能はオプション「APB 機能」を申し込んでいる必要があります	第 14 章(P.47)
12	入退管理	ユーザーに対して区分を付け足し、在室管理を行うことができます。 ※本機能はオプション「入退管理」を申し込んでいる必要があります	第 15 章(P.49)

4. ログイン

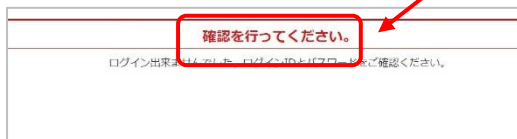
ログイン画面について、説明します。

4-1. ログイン／ログアウト



図 4-1-1 ↑ / ↓ 図 4-1-2

クリックで、ポップアップをどかすことができます。



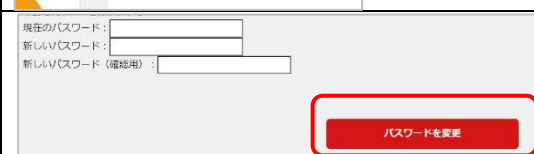
1. ログイン画面にアクセスし、ユーザーIDとパスワードを入力します。
2. ログインボタンを押します。
3. パスワードを忘れた場合は、ログインボタン下の「パスワードを忘れた方はこちら」をクリックしてください。
4. 入力したパスワードが間違っている場合、左図のようなポップアップが表示されます。
5. 「確認を行ってください」、もしくは右部に表示される下記アイコンをクリックして、ポップアップ表示を小さくし、パスワードボックスにパスワードを再入力してください。



図 4-1-3 ポップアップ縮小アイコン

4-2. パスワード変更

パスワードは、ログイン後、以下の手順で変更することができます。 図 3-2

ダッシュボード DataScope D-Scope	
1. ログイン後、画面上部に表示されるトップバーを確認。	
	2. トップバー右側に表示されている、ユーザー名をクリック。 左図のようなブルダウンが表示されます。 「パスワード変更」をクリック。
	3. 現在のパスワードと新しいパスワードを入力。 「パスワードを変更」ボタンをクリックします。

5. トップ画面（ダッシュボード）

ログインすると最初に表示される画面です。

サービスに接続された全ての端末の情報を、総合して統計的に閲覧できます。

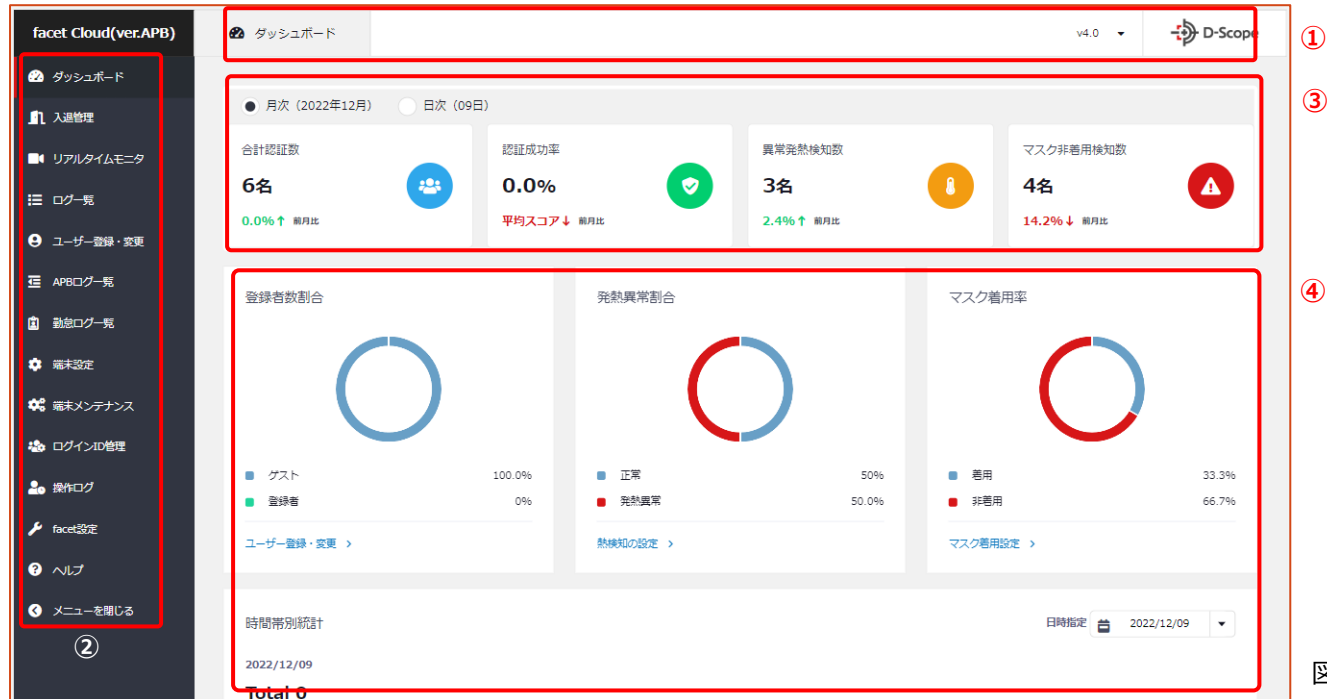


図 5-1

◆ダッシュボードは主に以下の要素で構成されています。

- ①トップバー：製品情報の他、ユーザー設定、ログイン/ログアウト、パスワード変更
- ②メニューバー：サービスを構成する各画面へのリンク
- ③統計情報：サービスに接続された全ての端末から得た統計情報を、数字で表示。
- ④グラフ：各統計情報を視覚的に表現

「統計情報」については、月次と日次で切り替えが可能です。（図 5-2）

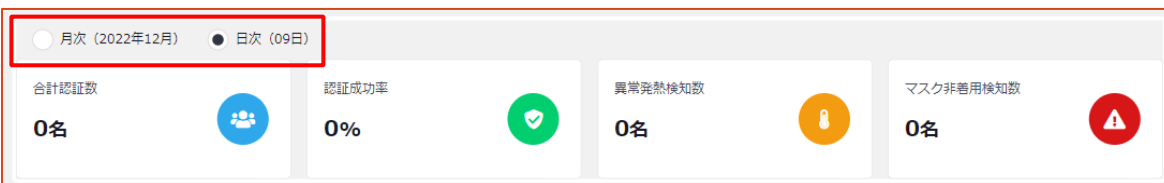


図 5-2

※日次については、「合計認証」、「認証成功率」、「異常発熱検知数」、「マスク非着用検知数」の4項目が切り替えられます。

※日次の集計は月次同様、0時にリセットされ、集計及び更新は毎時15分にされます。

6. リアルタイムモニタ

リアルタイムモニタでは、サービスに接続された全ての Face FC 端末が、最後に取得した画像を、一元的に閲覧することができます。

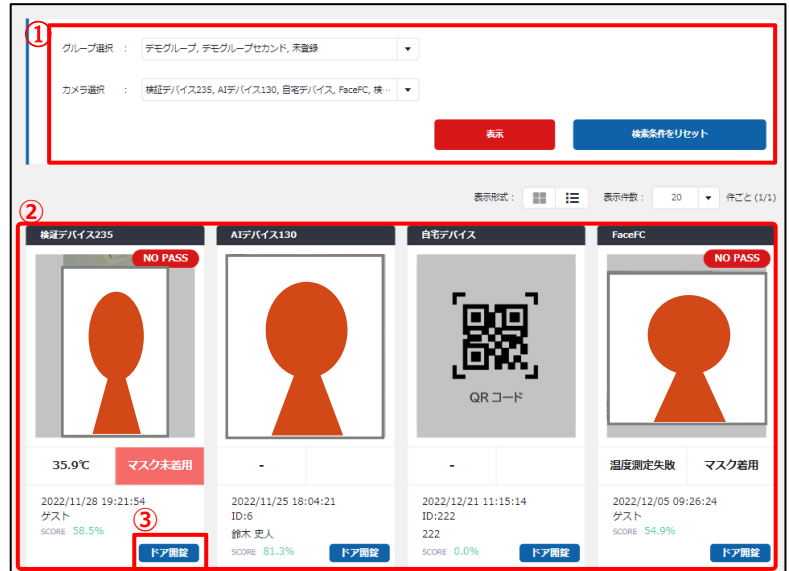
6-1. コレクションビュー

図 6-1-1

① フィルタリング機能：本サービスに接続された各端末が最後に取得した画像の中から、②に表示させたい特定のカメラ(またはカメラグループ)を指定することができます。

② 最終取得画像一覧：本サービスに接続された Face FC 端末のうち、フィルタリングで選択された全ての端末のカメラ名、最終取得画像、体表温度、マスク着用有無、ID、氏名(※)、登録されている中で顔情報が最も近いユーザーとの「類似度(%)」(=スコア)を表示します。

③ ドア開錠：本サービスに接続された Face FC 端末*に接続されているドアを強制的に開錠することができます。
※AI カメラについては開錠機能がないので未対応となります。



6-2. リスト形式

本サービスに接続された Face FC 端末のうち、画面上部のフィルタリング機能で絞りかけた(もしくは全ての)端末が、最後に取得した画像情報を、文字ベースで表示します。



サムネイル形式と、リスト形式の切替は、表示形式切替アイコンをクリックします。
リスト形式で表示するには、表示形式アイコンのうち、右側を選択します。

日時	カメラグループ	カメラ	認証方式	ID/ゲスト	名前	ICカード番号	PASS	温度	マスク	スコア	画像/詳細情報
2022/11/28 19:21:54		検証デバイス235	顔認証	ゲスト			NG	35.9℃	未着用	58.5%	

リアルタイムモニタおよびログに表示される情報

リアルタイムモニタおよびログでは、以下の情報を閲覧することができます。

・検知した温度、マスク着用状況、検知日時、検知された人物の ID および氏名(未登録者の場合は「ゲスト」、登録者の場合のスコア(登録者の登録画像との類似度))

7. ロガー一覧

ログイン後、画面左部にある「ロガー一覧」をクリックします。

本サービスに接続されている全ての Face FC 端末から取得した情報一覧をログとして一元的に閲覧することができます。諸条件を設定して、表示結果にフィルタリングをかけることもできます。

図 7-1

① グループ選択 : デモグループ, 未登録
 カメラ選択 : 検証デバイス235, AIデバイス130, 自宅デバイス, ハレットAI...
 期間選択 : 2022/11/09 14:59 ~ 2022/12/09 14:59
☒ 詳細条件なし ☐ 詳細を絞り込む
 ログを表示 CSV形式 (画像あり) でダウンロード CSV形式 (画像なし) でダウンロード 検索条件をリセット
 ※「CSV形式でダウンロード」を実行する場合は、「ログを表示」で検索結果を絞ってから実行してください。
 ③ 表示形式 : ☒ ☐ ④ ヒット件数 : 890 件 ⑤ 表示件数 : 20 件ごと (1/45) 次ページ

画面上部のフィルタリング機能で、検索結果のフィルタリングができます。(図 7-1 ①)

フィルタリング機能で詳細の絞り込みを行う場合は、「詳細を絞り込む」へ切り替えることで詳細条件が表示されます。(図 7-2)

図 7-2

☐ 詳細条件なし ☒ 詳細を絞り込む
 ID :
 氏名 :
 ICカード番号 :
 マスク : ☒ 全て ☐ 有り ☐ 無し
 PASS : ☒ 全て ☐ PASS ☐ NO PASS
 登録者 : ☒ 全て ☐ ゲストのみ ☐ 登録者のみ
 温度 : ~ ☐ 温度計測なし/失敗のみ表示
 SCORE : ~

ID : 認証された人物 ID で絞り込みます

氏名 : 認証された人物の氏名で絞り込みます

IC カード番号 : 認証時にかざしたカード番号で絞り込みます

マスク : マスクの有無で絞り込みます

PASS : 通行許可かそうでないかで絞り込みます

登録者 : 登録者かそうでないかで絞り込みます

温度 : 温度で絞り込みます*

※[温度計測なし/失敗のみ表示]が有効の場合は入力された値は無効となります

SCORE : 認証時のスコアで絞り込みます

◆サムネイル形式での表示 (表示形式切替 :) (図 7-1 ③)

ロガー一覧を、顔画像で表示します。

カメラ名、顔画像、体表温度、マスク着用有無、日時時間、ID、氏名、登録されている中で顔情報が最も近いユーザーとの「類似度(%)」(=スコア)を表示します。

カメラ名	顔画像	体表温度	マスク着用有無	日時時間	ID	氏名	登録されている中で顔情報が最も近いユーザーとの「類似度(%)」(=スコア)
自宅デバイス		35.9℃	マスク未着用	2022/12/20 20:06:45	ID:999	999	SCORE: 0.0%
自宅デバイス		-	-	2022/12/20 18:36:47	ID:999	999	SCORE: 0.0%
自宅デバイス		36.1℃	マスク未着用	2022/12/20 18:28:45	ID:999	999	SCORE: 0.0%
自宅デバイス		-	-	2022/12/20 18:27:58	ID:999	999	SCORE: 0.0%

◆リスト形式での表示（表示形式切替：）（図 7-1 ③）

カメラ名、認証方式、ID、氏名、IC カード番号、体表温度、マスク着用有無、通行許可／不許可、および「類似度」を表示します。

日時	カメラグループ	カメラ	認証方式	ID/ゲスト	名前	ICカード番号	PASS	温度	マスク	スコア	画像/詳細情報
2022/12/21 11:15:14	デモグループ	自宅デバイス	QRコード	222	222	0211	OK	-		0.0%	
2022/12/21 11:11:22	デモグループ	自宅デバイス	顔認証	999	999		OK	36℃	未着用	96.3%	
2022/12/21 11:11:16	デモグループ	自宅デバイス	QRコード	999	999	0210	NG	-	着用	0.0%	

◆CSV 形式でダウンロード（図 7-1 ②）

CSV 形式でログ情報をダウンロードできます。

認証画像を含めてログ情報をダウンロードしたい場合は、「CSV 形式(画像あり)でダウンロード」にて取得ができます。

フィルタリング機能で、検索結果をフィルタリングすることによりダウンロード対象を絞ることができます。

※温度測定がない場合や失敗した場合の温度列は、「空欄」、「-1」、「0」が入ります。

※定期的に行われる「FaceFC 端末との同期」を行う前のログについては、カード認証の場合でも画像含めて出力されることがあります。

◆検索ヒット件数（図 7-1 ④）

絞り込まれた検索条件で何件のログがヒットしたかを確認できます。ログのダウンロードを行う場合は、ここに記載がされているヒットした件数分のログが出力されます。

◆表示件数の変更（図 7-1 ⑤）

ログの表示件数を変更できます。20 件から最大 200 件まで表示することが可能です。

8. ユーザー登録・変更

組織として管理すべきユーザーの情報を登録・編集することができます。

本サービスに接続している Face FC 端末が、ある顔を、特定の個人データと紐づける（＝管理可能な形で個人特定する）には、端末への当該ユーザーの顔画像と属性情報の登録が必要です。

ここでは、本サービスへのユーザー登録と、情報編集、削除の仕方を説明します。

8-1. 新規ユーザー登録



図 8-1-1 ※1 カード ID のバリデーションについて詳細は「facetCloud_API 仕様書」の「クラウドサーバーに登録された人物ハカード情報の登録」を参照ください。

端末が特定人物として認識すべき個人を、ユーザーとして登録します。

1. 「新規ユーザー登録」タブをクリックします。
2. 任意の ID を登録します。(必須)
※後から変更できないため、注意してください。
3. 登録者氏名を入力します。(必須)
4. 登録者生年月日(任意)を入力します。
5. IC カード情報(任意)を入力します。*1
右下の「全件を表示」から最大 3 つまで登録できます*2
6. 顔画像を登録します。(顔認証に必須)

※2JPEG 画像を登録することができます。推奨サイズは、1000 x 1000pixel 以上です。撮影ガイド（リンク先からアップロード可）を参考にしてください。



図 8-1-2

7. 特定のカメラグループをプルダウンから選択、もしくはカメラのチェックボックスにチェックを入れ、「登録」を押します。(★部)
8. 対象のカメラ端末にて当該個人が識別可能になります。

※顔画像の推奨サイズなどは、「登録画像の撮影ガイド (PDF)」をダウンロードして、ご参照ください。

8-2. ユーザー情報一覧・変更

端末に登録した人物の情報を編集することができます。

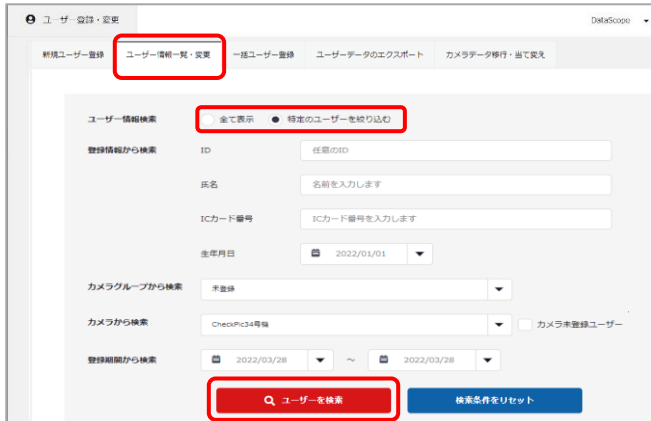


図 8-2-1

1. 画面左部の「ユーザー登録・変更」をクリックし、「ユーザー情報一覧・編集」タブを開きます。

2. 「全て表示」もしくは「特定のユーザーを絞り込む」を選択し、ユーザー情報を表示させます。

※「カメラ未登録ユーザー」をチェックしない場合、カメラが登録されているユーザーのみ表示されます。

図 8-2-2

登録日			
2021/01/19			

図 8-2-3

3. 一覧表示右部にあるアイコンをクリックします。(図 8-2-2 赤枠)

4. ユーザー情報の編集入力を行い、「登録」をクリックします。

ユーザーの変更

ID: testPerson

氏名: testPerson

生年月日: 1990/12/01

カードID: カード番号を入力します

カード有効期間: 2022/11/09 ~ 2022/12/09

画像登録: [ファイルをアップロード](#) [全件を表示](#)



パソコンなどから画像をアップロードすることができます。
下記の撮影ガイドを参考に撮影してください。jpg画像が利用できます。

[登録画像の撮影ガイド \(PDF\)](#)

通行可能時間帯: [カメラを選択](#) [全ての通行可能時間帯をクリア](#)

[閉じる](#) [登録](#)

※「ログイン ID 管理」より作成されたユーザー（管理者ユーザーではないユーザー）で、作成時に「カメラグループを所属させている」場合は、ユーザーの更新・削除ができません。(図 8-2-2 の赤・青枠)

※編集したユーザーがカメラに登録されている場合、「通行可能時間帯」及び編集したユーザー情報は、人物が登録されているカメラのみへ反映されます。

8-3. 一括ユーザー登録

複数のユーザーを一括登録します。

「ユーザー登録・変更」をクリックし、「一括ユーザー登録」タブを開きます。



CSV、エクセルファイルから一括登録が可能です。

CSV、エクセルのテンプレートをダウンロードのうえ、登録情報を入力したものをアップロードします。

各テンプレートダウンロードボタンをクリックすると、

「PersonnelInformation_sample_(excel もしくは csv).zip」というタイトルの Zip ファイルが、ご使用中の PC にダウンロードされます。中身は以下のとおりです。

図 8-3

1.	「PersonnelInformation」タイトルのテンプレート
2.	Sample 画像(顔画像のサイズおよび格納方法のサンプル)

※最低限必要な情報は、「ID／氏名／生年月日／顔写真ファイル名」、また、各ユーザーに対応する顔写真(jpeg 画像)です。

※ファイルのアップロード方法、作成手順、作成時の注意事項等については、「一括登録データの作り方について(PDF)」をダウンロードし、ご参照ください。

※入退管理モードを利用している場合は、テンプレートファイル(Excel のみ)の列に「区分」が追加されているファイル「PersonnelInformation_sample_ee_excel.zip」がダウンロードされます。利用している環境に合わせたファイルをご利用いただくことで正しくインポートが可能です。

8-4. ユーザーデータのエクスポート

本サービスに登録されているユーザーの情報を出力します。

1. 画面左部の「ユーザー登録・変更」を選択します。
2. ユーザーデータのエクスポートタブを選択し、タブを開きます。
3. 「全てを選択」もしくは「特定のユーザーを絞り込む」を選択し、表示結果をフィルタリングします。
4. Excel もしくは CSV 形式でダウンロードを選択します。
5. ご利用中の PC に、以下を含む Zip ファイルが Excel もしくは CSV 形式でダウンロードされます。

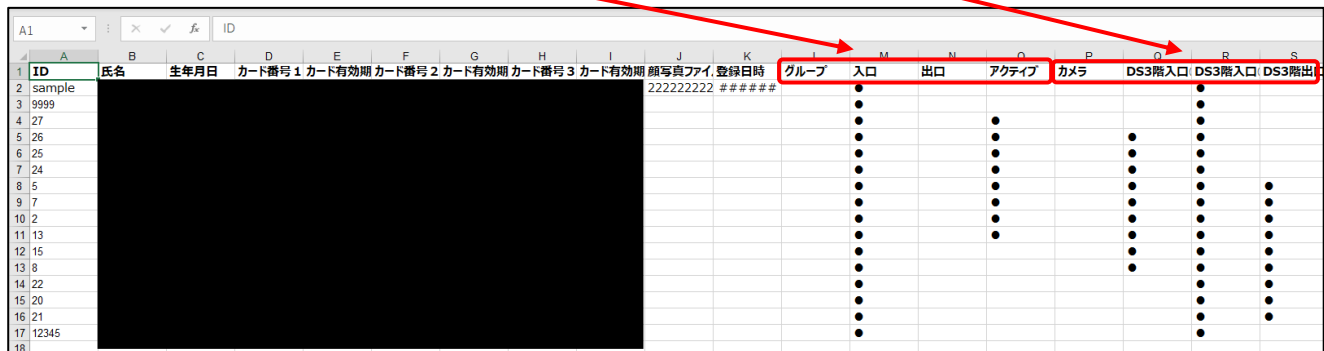


図 8-4

1. ID、氏名、生年月日、IC カード情報、顔写真ファイル名、登録日時が一覧記載された Excel もしくは CSV

◆ Excel でダウンロードした場合、下記の情報も記載されます。

各ユーザーが登録されているカメラグループ、各ユーザーが登録されているカメラ(●印で表示されます。)



ID	氏名	生年月日	カード番号 1	カード有効期	カード番号 2	カード有効期	カード番号 3	カード有効期	顔写真ファイル名	登録日時	グループ	入口	出口	アクティブ	カメラ	DS3階入口	DS3階入口	DS3階出口
sample									2222222222	#####		●					●	
9999												●					●	
27												●					●	
26												●					●	
25												●					●	
24												●					●	
5												●					●	
7												●					●	
2												●					●	
13												●					●	
15												●					●	
8												●					●	
22												●					●	
20												●					●	
21												●					●	
12345												●					●	

2. 各ユーザーに対応する顔写真

◆ ダウンロードされるのは、ユーザー登録用に使用した顔画像であり、当該ユーザーのログ一覧の画像全てを含むものではありません。

※入退管理モードをご利用の場合は、Excel ファイルのみ「区分」が入った情報が出力されます。

8-5. カメラデータ移行・当て変え

特定のカメラから他のカメラへ、ユーザーデータを移行します。※ログイン ID 管理で作成されたユーザーは使用できません。

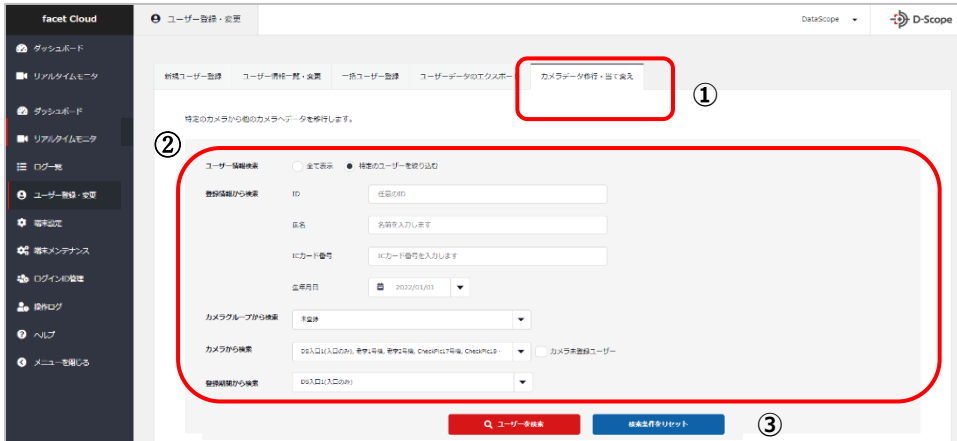


図 7-5-1

画面左部から「ユーザー登録・変更」を選択します。

1. 「カメラデータ移行・当て変え」タブを開きます。(①)

2. 移行元データの保存されているカメラの設定を呼びだします。図②部のフィルタリング機能を使用します。

◆フィルタリング機能(②)

- ・**カメラグループ選択**：プルダウンから、移行元カメラが所属するカメラグループを選択すると、グループに登録されている複数の端末を自動的に選択することができます。
- ・**移行元カメラを選択**：チェックボックスにチェックを入れることによって、各端末を個別に選択することができます。

3. 「登録ユーザーを確認」ボタンをクリックすると、選択した端末に登録されているユーザーのデータ一覧が表示されます。データを移行したいユーザーのチェックボックスにチェックを入れます。

4. 画面下部までスクロールダウンし、「選択件数」が、上部ユーザー一覧で選択したユーザー数と一致することを確認します。(④)

5. 移行したいカメラ、もしくはカメラグループを選択し、旧データの取り扱いおよび ID 重複データの取り扱いを決定します。(⑤)

6. 「ユーザーデータを移行」ボタンをクリックし、移行先端末に移行元端末のユーザーデータを移行します。(⑥)



図 7-5-2

- ◆**旧データ**：①消去せずに追加：移行先端末に存在する全ユーザーデータを消去せずに、移行元端末の選択データだけを追加する。/②全て消去して入れ替え：移行先端末に存在する全ユーザーデータを消去して、移行元端末の選択データに入れ替える。
- ◆**ID 重複データ**：移行元端末に対するユーザー登録の際にユーザーに付与した ID と同じ ID が、移行先の端末に存在する場合にデータを上書きするか、移行先端末のデータを優先させる(上書きしない)かを、選択します。

8-6. カメラデータの移行・当て替え(個別ユーザーに対する割り当てカメラの変更(削除・追加))

facet cloud では、ユーザーひとりひとりに割り当てられたカメラを変更することができます。



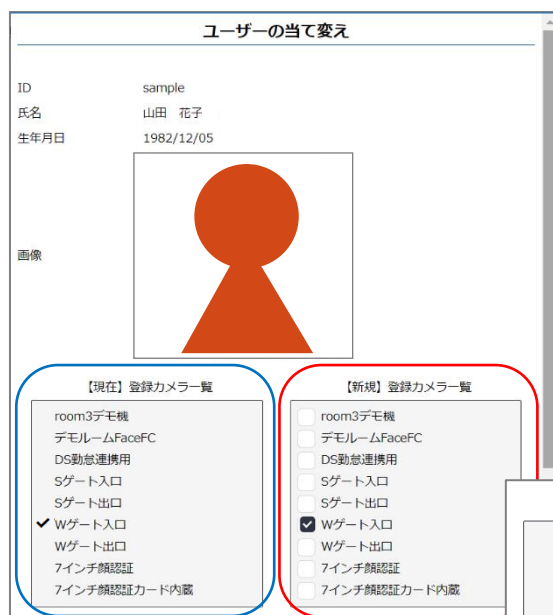
1. 「カメラデータ移行・当て替え」に遷移。
カメラの当て替えを行いたいユーザーをフィルタリング機能で抽出します。(図 8-6-1)
2. 当該ユーザー欄の右横にある、「編集」アイコンをクリックします。(図 8-6-2)

図 8-6-1



図 8-6-2

3. ユーザーの編集画面から、当該ユーザーに割り当てるカメラを選択します。この際、左側のボックスには現在当該ユーザーが割り当てられているカメラが表示されています。(図 8-6-3)



4. 右側のボックスから割り当てたいカメラを選択・削除します。
 5. 「実施内容」で編集内容を確認します。(図 8-6-4)
- 「ユーザーデータを移行」をクリックして、個別ユーザーに対する割り当てカメラの編集を完了します。

図 8-6-3

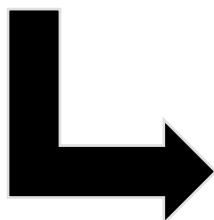


図 8-6-4

9. 端末設定

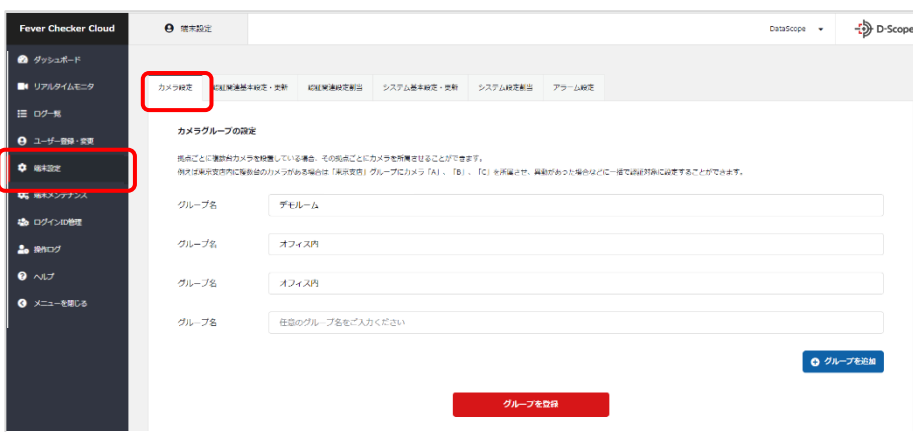
Facet Cloud の端末設定においては、カメラのコントロールおよび認証関連の設定を行うことができます。

9-1. 端末画面タブ一覧

タブ名	内容	項目
カメラグループ設定	カメラグループ設定では、カメラグループの作成および編集することが可能です。	9-2
カメラ設定	カメラ設定では、各端末のシリアル番号に基づくカメラ名称やグループの設定を行うことができます。	9-3
認証関連基本設定・更新	認証関連基本設定・更新タブにおいては、顔認証・マスク検出・温度検知に関する On/Off や閾値設定を、プリセットとして保存・編集することができます。	9-4
認証関連設定割当	認証関連設定割当タブにおいては、認証関連基本設定・更新において設定したプリセットを、各端末やカメラグループを指定して割り当てることができます。	9-5
システム基本設定・更新	システム基本設定・更新タブにおいては、端末の日付や時刻の設定をを、プリセットとして保存・編集することができます。	9-6
システム設定割当	システム設定割当タブにおいては、システム基本設定・更新において設定したプリセットを、各端末またはカメラグループを選択して割り当てることができます。また、端末に対してファームウェアのアップデートを行うことができます。	9-7
アラーム設定	アラーム設定タブにおいては、顔認証失敗／ブラックリスト／温度異常／マスク未装着についてのアラート On/Off、および発報先メールアドレスを設定することができます。	9-8

9-2. カメラグループ設定

カメラ設定では、カメラグループの作成および各端末のシリアル番号に基づくカメラ名称の設定を行うことができます。



◆カメラグループの設定

画面左部メニューの「端末設定」を選択し、「カメラ設定」タブを選択します。

グループ名に、任意の名前を入力し、

「グループを登録」をクリックします。

グループを追加する場合には、

「グループを追加」をクリックします。

図 9-2-1

9-3. カメラ設定

◆カメラ検索

シリアル番号もしくは、
カメラ端末が属するカメラグループをプルダウンから選択してください。
「検索実行」をクリックして設定を保存します。

図 9-3-1

◆カメラ端末のバージョン取得・登録情報編集

「取得」をクリックすると対象の端末の FW バージョンが「バージョン番号」に記載されます。
「編集」をクリックすると図 9-3-4 のように編集画面へ遷移し登録情報を編集することができます。
※Face FC との初回セットアップ時は「取得」にて Face FC との接続ができていないかの確認ができます。

図 9-3-3

No	シリアルNo	カメラグループ	カメラ名称	型番	バージョン番号	最終取得日時	ver番号/型番	編集
1	5L15X410392	デモグループ	テストデバイス1	STD-TTCX1200	2.396.11.89.T	2022-08-05 14:45:57	取得	編集

図 9-3-4

編集画面では「名称」、「グループ」、「No」、「PUSH 転送先」を指定します。

※「No」は facetCloud でのカメラ並び順番号となります

※「PUSH 転送先」を使用する通知機能については、「facetCloud_API 仕様書」の「認識の通知（プッシュ通知）」を参照してください。

図 9-3-5

※オンプレミス環境でも、デバイスを使用して画像のチェックができるようになりました。

そのため、API:checkPersonPicture のためのデバイスにするかどうかの変更も可能となります（図 9-3-5）

図 9-3-6

設定を保存するには、「設定反映」を押します。

9-4. 認証関連基本設定・更新

認証関連基本設定・更新タブにおいては、顔認証・マスク検出・温度検知に関する On/Off や閾値の設定を行うことができます。また、設定をまとめてプリセットとして登録することや、すでに登録されたプリセットに対して項目の編集を行うことができます。

◆認証関連設定-基本設定

顔検出・マスク検出・温度検知に関する認証閾値のセットをまとめてプリセットとして登録します。

図 9-4-1



カメラ設定 **認証関連基本設定・更新** 認証関連設定割当 システム基本設定・更新 システム設定割当 アラーム設定

認証関連設定

顔認証の設定、温度検知設定、アラートの設定など、認証に関する設定を行います。

基本設定

基本のセットを登録・更新します。基本設定は各カメラに同一の設定を登録することが可能です。

☒ 新規追加 任意の設定名を入力ください

☐ データ更新 [Dropdown Menu]

1. 新規にプリセットを追加する場合には、「新規追加」欄に任意のプリセット名を入力してください。

例) 入口 1 用、〇〇部署用、など

2. 既存のプリセットを編集する場合には、データ更新のチェックボックスにチェックが入った状態で、プルダウンからプリセットを選択し、設定を呼び出してください。

既存のプリセットを呼び出した場合、画面下部の認証関連項目の設定が、当該プリセットで登録した値に切り替わります。

◆ディスプレイ表示設定

ディスプレイ表示

会社名/団体名/イベント名など

認識人物の情報

カメラの情報

氏名表示

☒ する
☐ しない

ID表示

☒ する
☐ しない

登録写真表示

☒ する
☐ しない

IPアドレス表示

☒ する
☐ しない

シリアルNo表示

☒ する
☐ しない

ファームウェアバージョン表示

☒ する
☐ しない

① 会社／団体名／イベント名など

Face FC 端末のディスプレイ上に、施設名やイベント名などを表示させることができます。(自由入力)

② 認識人物の情報

Face FC 端末のディスプレイ上に、カメラが人物の認識した際に「表示する／しない」情報の選択をします。

表示させたくない情報は、「しない」チェックボックスを選択してください。

③ カメラの情報

Face FC 端末のディスプレイ上に、カメラに関する情報で「表示する／しない」情報の選択をします。

表示させたくない情報は、「しない」チェックボックスを選択してください。

◆顔認証設定



顔認証

① 認証成功/失敗時のディスプレイ通知設定

成功時のメッセージ(空登録の場合は通知無し)

失敗時のメッセージ(空登録の場合は通知無し)

※ メッセージ表示の背景色を選択できます。

成功時のメッセージ背景色

青

失敗時のメッセージ背景色

赤

② 認証成功/失敗時の音声再生設定

成功時の音声再生

☒ する ☐ しない

失敗時の音声再生

☒ する ☐ しない

③ 認証精度

識別距離(0.5メートルから2メートルの範囲)

1.0

識別レベル

写真/ビデオの偽装を正確

写真/ビデオの偽装を判別しない

写真/ビデオの偽装を部分的に判別する

写真/ビデオの偽装を正確に判別する

識別間隔秒(0秒～10秒)

0

識別間隔秒(0秒～10秒)

0

識別比較閾値(0～100)

80

マスク検出時の識別比較閾値(0～100)

80

図 9-4-2

① 顔認証成功／失敗時のディスプレイ通知設定

端末が顔認証に成功した（個人を識別できた）場合のメッセージを編集します。
デフォルトでは、「認証成功」となっています。

※ マスクをつけたまま認証された際の認識閾値を設定できます。

端末が顔認証に失敗した（個人を識別できなかった）場合のメッセージを編集します。

② 認証成功／失敗時の音声再生設定

端末が顔認証に成功もしくは失敗した場合の音声再生を設定します。
音声内容を変更することはできません。

③ 認証精度

認証精度をコントロールします。「識別距離」は、顔認証のために端末から必要な距離の選択です。

「識別レベル」は、生体認証のレベルをコントロールすることで、生体以外の画像や、Live 映像以外の動画を用いた偽装認証の可能性を低減させるための設定です。（部分的もしくは正確に、を選択すると本人認証精度が落ちることがあるため、ご注意ください。）

- ・写真／ビデオの偽装を判別しない
- ・写真／ビデオの偽装を部分的に判別：端末が認識しているのが Live 映像か否かを判別。
- ・写真／ビデオの偽装を正確に判別：端末が認識しているのが Live 映像か否かおよび動体が熱を発しているかを判別。

「識別間隔」は、端末システムが顔認証を行う頻度を速度で表したものです。0(秒)に設定すると、端末の顔フレームに人間の顔がおさまる機会ごとに顔認証を行います。1(秒)以上を設定すると、1秒間隔で顔認証を行い、結果を測定します。

「認識比較閾値」では、登録された顔写真と比較して類似度が何度以上であれば本人として認証するかの閾値を設定します。

◆マスク検出



図 9-4-3

- ① **入場判定**…マスク着用有無によって入場判定を行うかを選択します。また、マスク着用と非着用のどちらを許容するかを選択します。
- ② **マスク検出モード**…マスクがどの程度顔を覆っている場合を許容するかを選択します。
- ③ **マスク装着者の通知メッセージ（未登録の場合には通知無し）**…検出モードで選択した条件でマスクを着用している個人に対して表示されるメッセージを編集します。任意のメッセージを入力してください。
- ④ **マスク装着者の通知テキスト背景色**…マスク検出モードで選択した条件でマスクを着用している個人に対して表示されるメッセージの背景色を編集します。
- ⑤ **マスク非着用者の通知メッセージ(未登録の場合には通知なし)**…マスク検出モードで選択した条件でマスクを着用していない個人に対して表示されるメッセージを編集します。任意のメッセージを編集してください。
- ⑥ **マスク非着用者の通知テキスト背景色**…マスク検出モードで選択した条件でマスクを着用していない個人に対して表示されるメッセージの背景色を選択します。

◆温度検出



温度検出

有効/無効 ☒ 温度検知を有効にする ☐ 温度検知を無効にする

入場判定 温度異常が検知された人

温度検出のディスプレイ通知設定

温度正常者の通知メッセージ(空登録の場合は通知無し)
%℃ 温度正常

温度異常者の通知メッセージ(空登録の場合は通知無し)
%℃ 温度異常

温度検出の音声通知設定

温度正常者の音声通知
☒ する ☐ しない

温度異常者の音声通知
☒ する ☐ しない

温度検知設定

正常温度設定(デフォルト: 35.5~37.3)
35.5 ~ 37.3

温度補正(デフォルト: 0.0)
0.0

温度異常が検知された人

温度では入場判定は行わない
温度異常が検知された人物の入場を拒否する

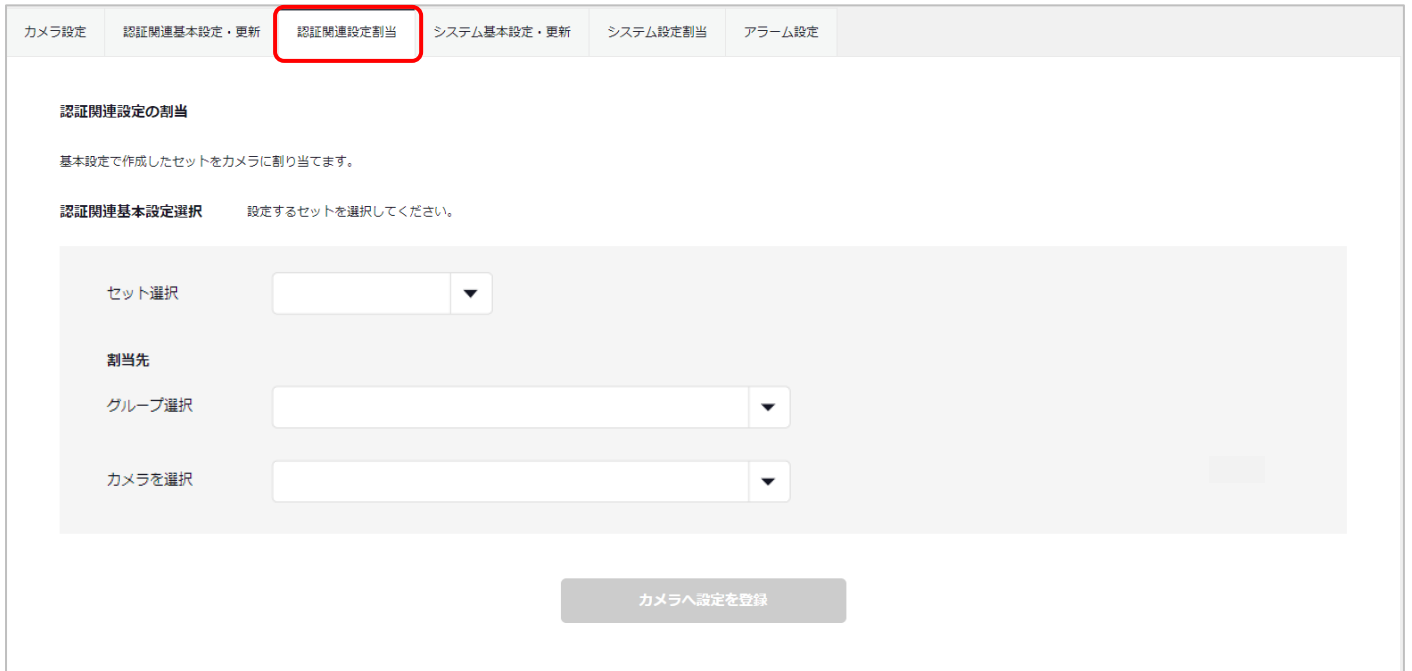
図 9-4-4

- ① **有効／無効**…温度検知の有効無効を選択します。
- ② **入場判定**…異常温度が検出された人物の入場判定を行うか否かを選択します。
- ③ **温度検知のディスプレイ通知設定**…温度正常者の通知メッセージと、温度異常者の通知メッセージ(いずれも空登録の場合は通知無し)を自由入力します。初回時は、初期値が既に入力されています。
- ④ **温度検出の音声通知設定**…温度が正常または異常である人物を検出した際の音声通知 On/Off を選択します。
- ⑤ **温度検知設定**…「正常温度設定」では、何度から何度を正常温度とするかを設定します。(表示は摂氏(℃)です。)「温度補正」では、端末が検知する温度および末画面に表示される温度に対して補正をかける場合の調整を設定します。

9-5. 認証関連設定割当

認証関連設定割当タブにおいては、認証関連基本設定・更新において設定したプリセットを、各端末やカメラグループを指定して割り当てることができます。(次頁に続く)

「認証関連基本設定選択」にて、8-4 認証関連基本設定・更新タブで作成したプリセットを、当該プリセットを割り当てたい端末に対して適用します。



カメラ設定 認証関連基本設定・更新 **認証関連設定割当** システム基本設定・更新 システム設定割当 アラーム設定

認証関連設定の割当

基本設定で作成したセットをカメラに割り当てます。

認証関連基本設定選択 設定するセットを選択してください。

セット選択 ▼

割当先

グループ選択 ▼

カメラを選択 ▼

カメラへ設定を登録

図 9-5

- ① 「セット選択」欄のプルダウンから、割り当てたいプリセットを呼びだします。
- ② 「割当先」欄の「グループ選択」、「カメラを選択」で、①で呼びだしたプリセットを割り当てる端末を選択し、「カメラへ設定を登録」をクリックし、プリセットを端末に割り当てます。

9-6. システム基本設定・更新

システム基本設定・更新タブにおいては、端末の日付や時刻の設定を行うことができます。



図 9-6-1

- ① 新しいプリセットを登録する場合には、「基本設定」欄の「新規追加」チェックボックスにチェックを入れ、任意のプリセット名を入力します。
- ② 既に登録済のプリセットデータを編集する場合には、「データ更新」チェックボックスにチェックを入れ、プルダウンから編集したいプリセットを呼びだします。呼び出したプリセットの情報は、画面下部に自動表示されます。

◆カメラから設定を読み込む

特定の端末の設定を呼び出す場合には、「基本設定」欄ではなく、その下の「カメラから設定を読み込む」欄のグループとカメラを選択し、個別のカメラ端末自体の設定を呼び出します。

◆基本設定

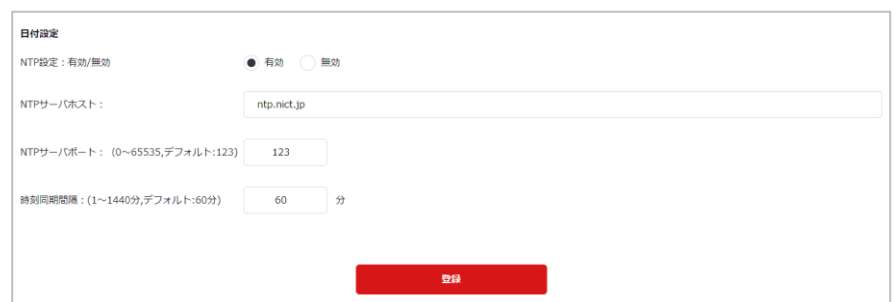
9-6-2



- ・音声ボリューム：端末の音声の大きさ
- ・画面の明るさ：端末画面の明るさ
- ・LED 照明の明るさ：端末上部 LED 照明の明るさ
- ・スタンバイに入る時間：端末画面がスタンバイに入るまでの時間

◆日付設定

9-6-3



- ・NTP 設定：NTP(時刻同期プロトコル)の On/Off を設定します。
- ・NTP サーバホスト：NTP サーバホストを入力します。
- ・NTP サーバポート：NTP サーバポートの番号を入力します。
- ・時刻同期間隔：時刻同期の間隔を数字で入力します。

9-7. システム設定割当

システム設定割当タブにおいては、システム基本設定・更新において設定したプリセットを、各端末またはカメラグループを選択して割り当てるができます。また、端末に対してファームウェアのアップデートを行うことができます。

◆システム基本設定選択



図 9-7-1

1. システム基本設定選択の「セット選択」欄横のプルダウンにて、システム基本設定・更新タブで作成したプリセットを呼び出します。
2. 「割当先」欄の「グループ選択」、「カメラを選択」欄にて、手順 1 で呼び出したプリセットを割り当てたい端末を選択します。
3. 「カメラへ設定を登録」ボタンをクリックし、設定を保存します。

◆ファームウェア更新

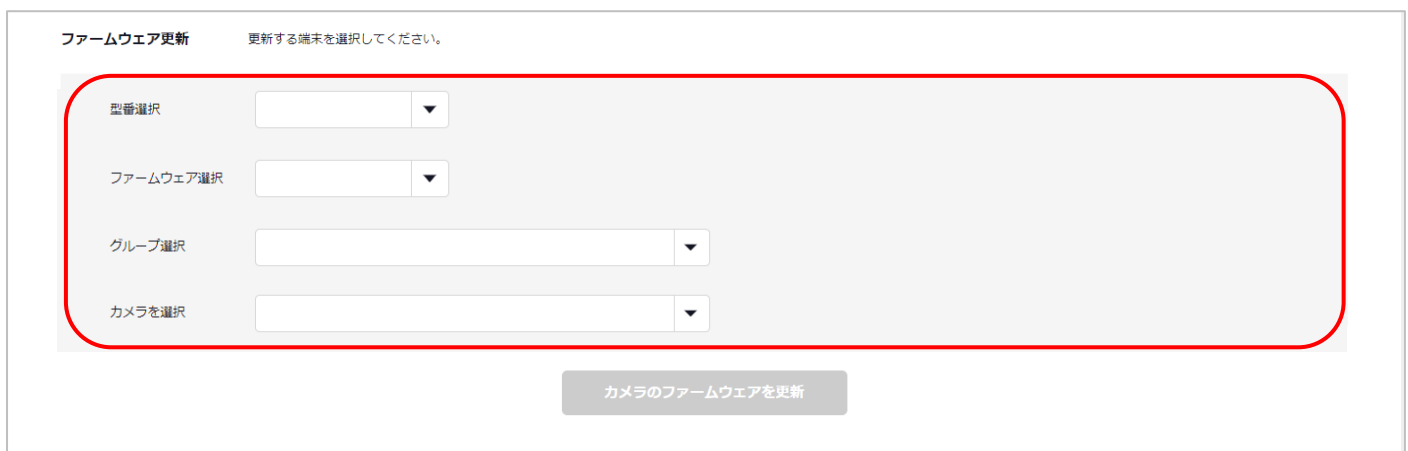


図 9-6-2

1. 「型番選択」欄のプルダウンにおいて、ファームウェア更新をしたい端末の型番を選択します。
2. 「ファームウェア選択」欄のプルダウンにおいて、端末に割り当てたいファームウェアバージョンを選択します。
3. 「グループ選択」もしくは「カメラを選択」欄にて、当該ファームウェアを割り当てる端末を選択します。
4. 「カメラのファームウェアを更新」ボタンをクリックし、設定を保存します。

※型番選択を行うとその型番に適用できるファームウェアが絞り込まれます。

9-8. アラーム設定

アラーム設定タブにおいては、顔認証失敗 ブラックリスト 温度異常 マスク未装着についてのアラート On/Off、および発報先メールアドレスを設定することができます。



図 9-8-1

プルダウンから任意の項目を選びます。（アラーム設定 1 ～ 5）



【アラーム設定】

◆設定名

アラーム設定に名前をつけます。

◆アラーム時のメール発報機能

メール発報の On/Off を切り替えます。

◆カメラを選択

プルダウンもしくは個別カメラのチェックボックスにチェックを入れて、どのカメラに対する設定かを決定します。

図 9-8-2

◆アラーム基準の設定

どの条件が満たされたときに、アラームを出すかを選択します。複数の条件を同時に選択することもできます。

◆送信先メールアドレス

アラーム時にメール発報を行う場合に、発報先の E-メールアドレスを指定します。

◆メールタイトル

アラームメール発報時のメールタイトルを設定します。



メールタイトル

[Fever Checker Cloud] 異常が検知されました。

顔認証デバイスにおいて、下記の通りの異常が検知されました。

シリアルNo : 【シリアルNo】
 カメラ : 【カメラ名称】
 認識日時 : 【認識日時】

PASS : 【PASS結果】
 温度 : 【温度測定結果】
 マスク : 【マスク判定結果】
 登録有無 : 【登録者判定結果】
 ユーザーID : 【ユーザーID】
 ユーザー氏名 : 【ユーザー氏名】

3つよりも多くのメールアドレスをご利用になりたい場合には、メールリストをご活用ください。

メールをテスト送信

登録

◆メール本文

アラームメールの中身がテンプレート形式で表示されています。

用途に基づいて、任意に編集することができます。

◆メールのテスト送信

ボタンをクリックして、指定したメールアドレスにテストメールを送信します。

図 9-8-3

最後に「登録」ボタンをクリックして、設定を保存します。



アラーム設定

アラーム設定の選択

設定を選択

設定を選択

テスト

アラーム設定2

アラーム設定3

アラーム設定4

アラーム設定5

次回からアラーム設定タブに遷移すると、保存した設定を選択できるようになります。

図 9-8-4

10. ログイン ID 管理

ログイン ID 管理は、メニューの表示制限を行う権限を作成して、ログイン ID を新規で作成することができます。

10-1. 権限作成

権限作成タブでは、権限の作成及び編集を行うことができます。作成できる権限は最大 10 個までです。



① 新規に権限を追加する場合には、「新規追加」欄に任意のプリセット名を入力してください。

例) オペレーター、●●支店管理部、など

② 既存の権限を編集する場合には、データ更新のチェックボックスにチェックが入った状態で、プルダウンからプリセットを選択し、設定を呼び出します。既存のプリセットを呼び出した場合、画面下部(④)の権限関連項目の設定が、当該プリセットで登録した値に切り替わります。

③ 既存の権限を削除する場合には、プルダウンからプリセットを選択し、右に表示される×ボタンをクリックします。



④ 権限にて表示させたいメニューに対してチェックを入れて、「権限を登録」を押してください。

※「端末管理→カメラ設定」、「ログイン ID 管理」については admin 権限の ID (facetCloud 加入時に発行される adminID) のみしか操作できません。

10-2. 新規登録

新規登録タブでは、権限を指定して、ログイン ID の新規作成を行うことができます。作成できる ID は、**admin 権限の ID (facetCloud 加入時に発行される adminID) の「_(アンダーバー)」に続く ID**となります。

例) admin 権限の ID が「datascope」なら、作成できる ID は、「datascope_ **taro**」、「datascope_ **hanako**」など

※シングルテナントの場合は、adminID に依存せず任意の ID で登録することが可能です。ただしシングルテナントでも、契約 ID を複数所有する場合は任意での作成はできませんのでご了承ください。

権限作成

新規登録

変更・削除

新規登録

権限を指定してログインIDを作成することができます。
作成できるログインIDは、「datascope_」から始まるIDのみ作成できます。

ログインID *

①

パスワード *

②

パスワード (確認) *

③

氏名 *

④

カメラグループ (任意)

⑤ ▼

権限 *

⑥ ▼

※カメラグループを指定した場合は、選択したカメラグループに属するカメラしか表示されなくなります。
加えて、ユーザ登録・カメラ設定・アラート設定のメニューが非表示になります。

ログインIDを登録

⑦

① 作成する ID を入力します。

※「adminID_」に続く ID を入力します。

② パスワードを入力します。

※8 文字以上

③ 確認用としてパスワードを再度入力します。

※8 文字以上

④ 「氏名」の情報を入力します。

⑤ カメラグループを指定することで、作成した ID に対してカメラの閲覧制限を行うことができます。作成した ID は、指定したカメラグループのカメラのみしか閲覧できなくなります。

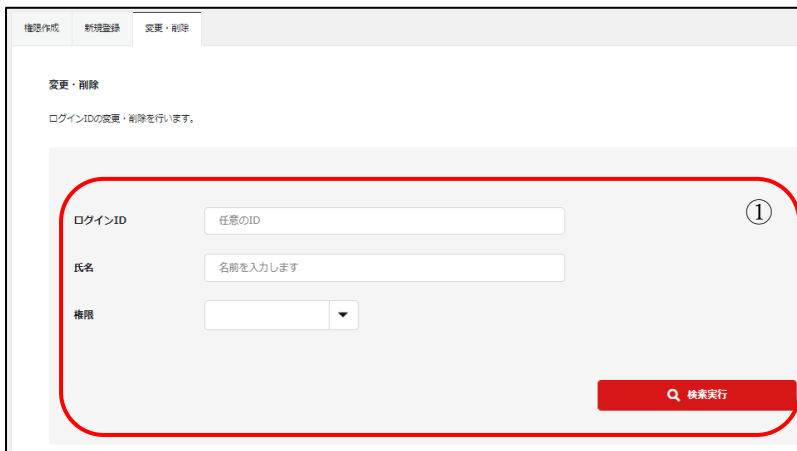
※カメラグループを指定した場合は、ユーザー登録・カメラ設定・アラート設定のメニューが強制的に非表示になります。

⑥ 「権限」を指定します。

⑦ 「ログイン ID を登録」を押して、ログイン ID を作成します。

10-2. 変更・削除

変更・削除タブでは、作成したログイン ID の変更・削除を行います。



権限作成 新規登録 変更・削除

変更・削除

ログインIDの変更・削除を行います。

ログインID: 任意のID ①

氏名: 名前を入力します

権限: ▼

検索実行

① 「ログイン ID」、「氏名」、「権限」を指定して、ログイン ID を検索します。



検索結果 ②

ヒット件数: 1 件 表示件数: 20 件ごと (1/1)

ログインID	氏名	カメラグループ	権限
datascope_taro	スコープ太郎		オペレーター ③ ④

ヒット件数: 1 件 表示件数: 20 件ごと (1/1)

② 検索結果に対象のログイン ID が表示されます。

③ 変更画面に遷移します。(⑤参照)

④ ログイン ID の削除が行えます。



ログインIDの変更

ログインID: datascope_taro ⑤

パスワード:

パスワード (確認):

氏名 *: スコープ太郎

カメラグループ: ▼

権限 *: オペレーター ▼

閉じる 設定反映

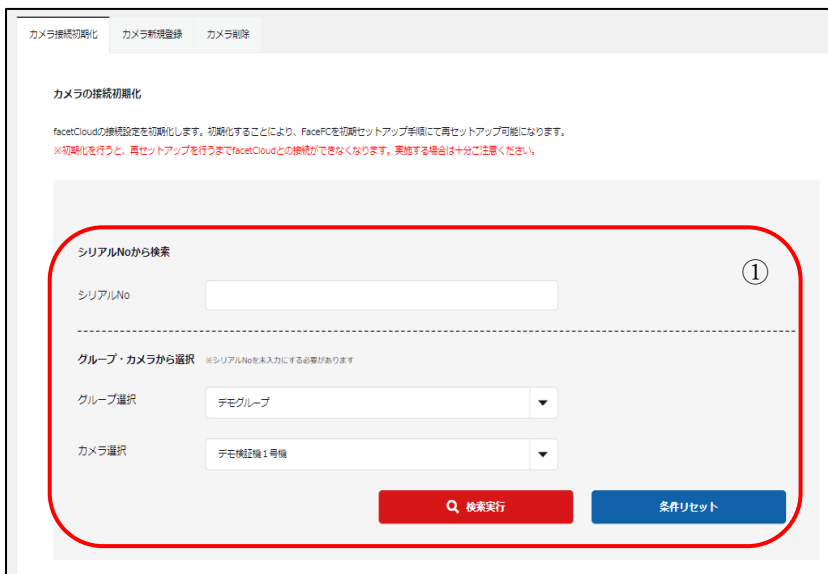
⑤ パスワード、氏名、カメラグループ、権限の再設定が行えます。設定が完了すれば「設定反映」をクリックします。

11. 端末メンテナンス

端末メンテナンスでは、本サービスに接続している Face FC の初期化や、新規登録・削除を行うことができます。facetCloud サービスに新規で端末を追加したい場合や、故障によりデバイスを交換する際にご活用いただけます。

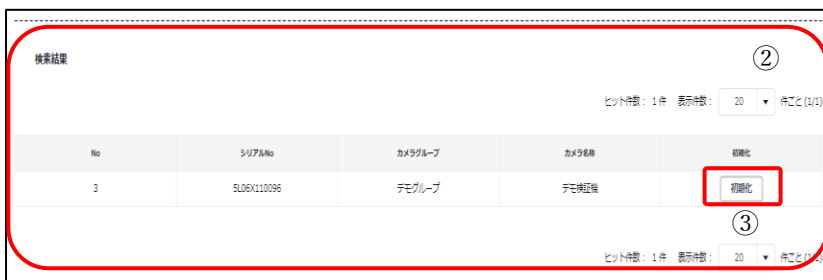
11-1. カメラ接続初期化

カメラ接続初期化では本サービスと Face FC との接続の初期化を行います。



① 初期化する Face FC の「シリアル No」もしくは「グループ・カメラ」を指定して端末を検索します。条件をリセットすることも可能です。

※検索時に、シリアル No を入力すると、グループ・カメラ選択は強制的に非活性化します。



② 検索実行結果が表示されます。

③ 対象の Face FC の初期化が行えます。

※初期化後は Face FC 管理画面の「プラットフォーム接続」→「WebSocket 登録」にてサーバーアドレスを再設定することで再度接続することができます。

11-2. カメラ新規登録

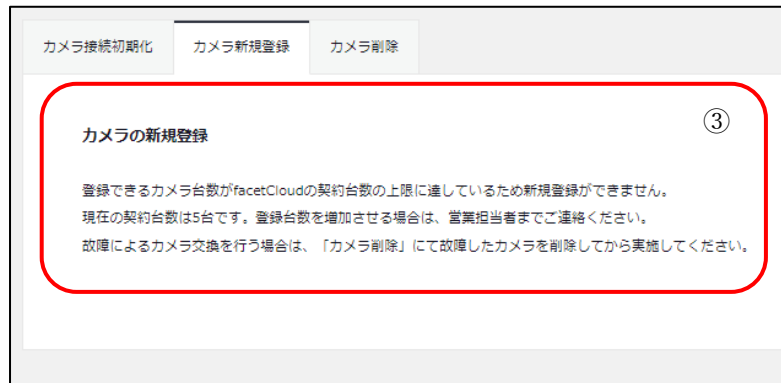
カメラ新規登録では、Face FC を本サービスへ新しく登録することができます。

※ver3.0 より新規登録時に登録できる項目（カメラ名称、カメラグループ）が増えました。



① 登録したい Face FC のシリアル No の入力と型番を選択し「登録」をすることができます。任意項目としてカメラ名称、カメラグループを登録することもできます。

②現在の契約台数と、残り登録可能台数が表示されます。



③ 規定の端末登録台数へ達している場合は、新規登録はできない旨の表示がされます。

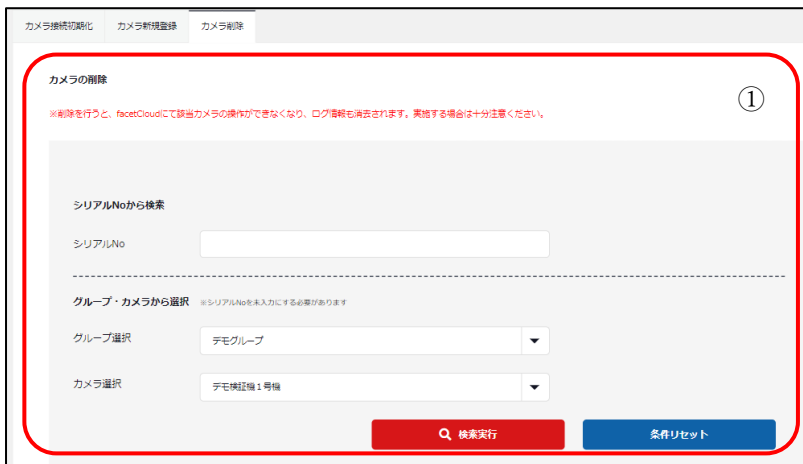
※登録した端末を本サービスに接続する場合は、Face FC 管理画面の「WebSocket 登録」にてサーバーアドレスを設定することで接続されます。

11-3. カメラ削除

カメラ削除は、本サービスに接続もしくは登録されている Face FC を削除することができます。

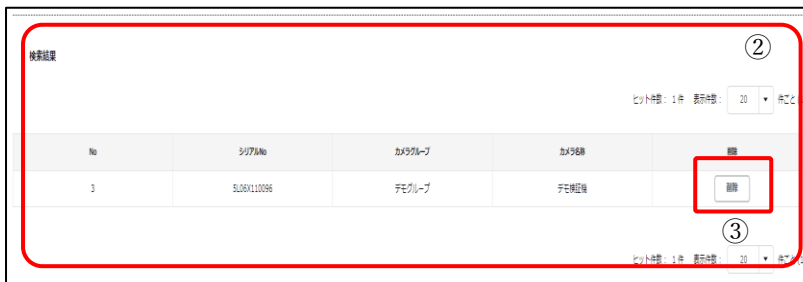
※カメラ削除を行うと、削除された FaceFC に関する一切の情報の確認できなくなります。

削除する場合は、ログデータの csv 出力機能等を活用しながら、削除する FaceFC の情報取得漏れが無いか十分にご確認のうえ消去ください。



① 削除する Face FC の「シリアル No」もしくは「グループ・カメラ」を指定して端末を検索します。条件をリセットすることも可能です。

※検索時に、シリアル No を入力すると、グループ・カメラ選択は強制的に非活性化します。



No	シリアルNo	カメラグループ	カメラ名称	操作
3	51061110096	デモグループ	デモ検証機	削除

② 検索実行結果が表示されます。

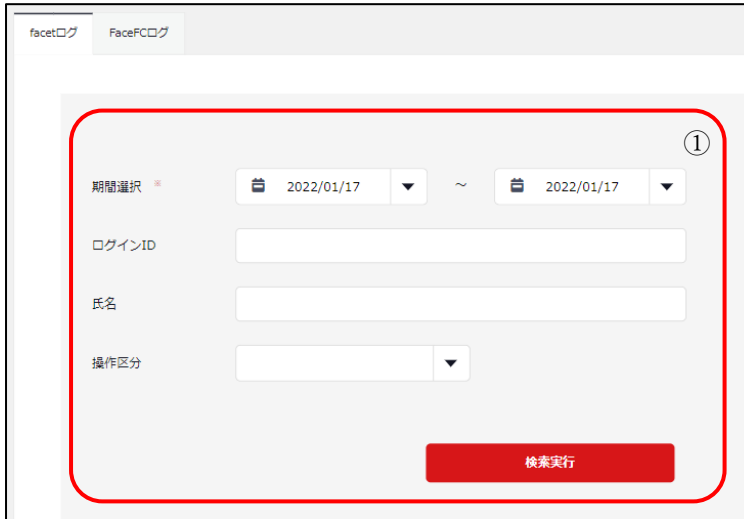
③ 「削除」ボタンにて削除を行うことができます。

12. 操作ログ

操作ログでは、本サービスでの操作ログと接続されている Face FC のログを確認することができます。

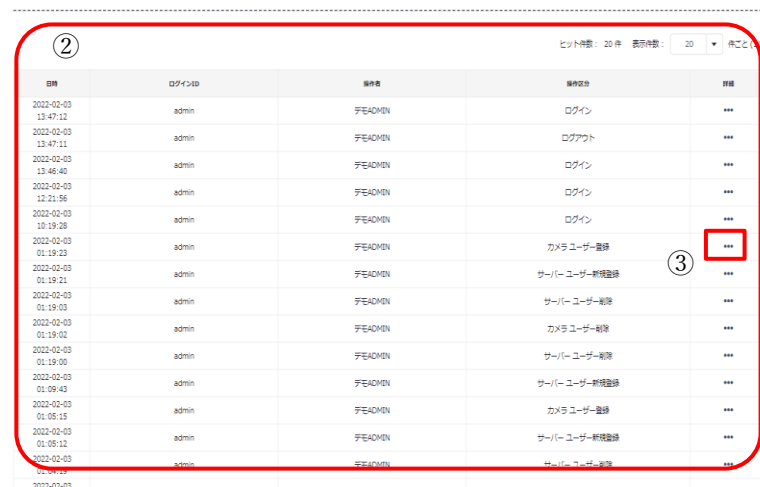
12-1. facet ログ

facet ログでは、本サービスの操作ログを確認することができます。



① 「期間選択」、「ログインID」、「氏名」、「操作区分」を入力、選択して「検索実行」します。

※必須項目は期間のみとなります。

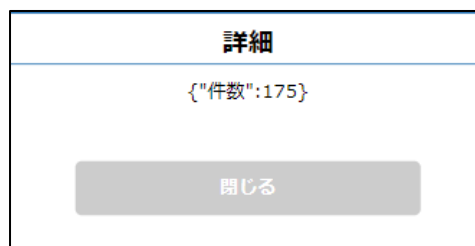


日時	ログインID	操作者	操作区分	詳細
2022-02-03 13:47:12	admin	デモADMIN	ログイン	...
2022-02-03 13:47:11	admin	デモADMIN	ログアウト	...
2022-02-03 13:46:40	admin	デモADMIN	ログイン	...
2022-02-03 12:21:56	admin	デモADMIN	ログイン	...
2022-02-03 10:19:28	admin	デモADMIN	ログイン	...
2022-02-03 01:19:23	admin	デモADMIN	カメラユーザー登録	...
2022-02-03 01:19:21	admin	デモADMIN	サーバーユーザー新規登録	...
2022-02-03 01:19:03	admin	デモADMIN	サーバーユーザー削除	...
2022-02-03 01:19:02	admin	デモADMIN	カメラユーザー削除	...
2022-02-03 01:19:00	admin	デモADMIN	サーバーユーザー削除	...
2022-02-03 01:09:43	admin	デモADMIN	サーバーユーザー新規登録	...
2022-02-03 01:09:15	admin	デモADMIN	カメラユーザー登録	...
2022-02-03 01:09:12	admin	デモADMIN	サーバーユーザー新規登録	...
2022-02-03 01:09:12	admin	デモADMIN	カメラユーザー登録	...
2022-02-03 01:09:12	admin	デモADMIN	サーバーユーザー新規登録	...
2022-02-03 01:09:12	admin	デモADMIN	カメラユーザー登録	...

② 検索実行結果が表示されます。

③ 「詳細」の「…」ボタンで操作の詳細の確認をすることができます。

例) ”ログ一覧 CSV 出力”ログの場合は、次の参考画像のように出力した件数の確認ができます。

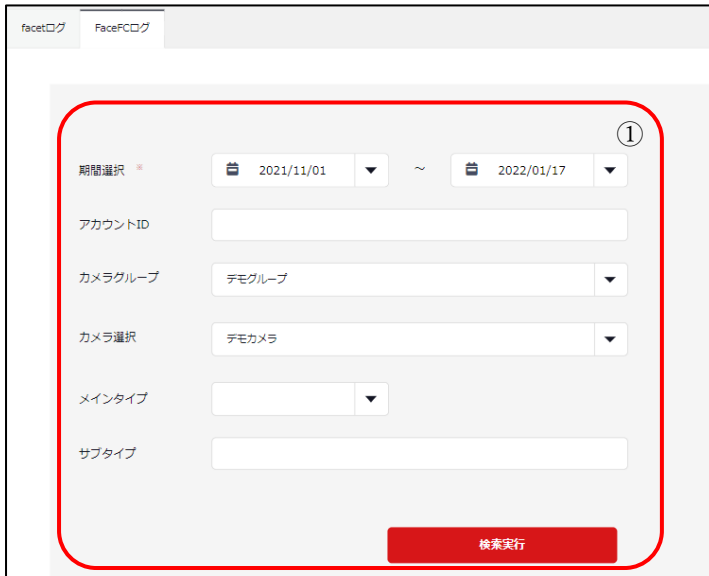


○ 参考画像

「ログ一覧 CSV 出力」時の詳細確認時の画面

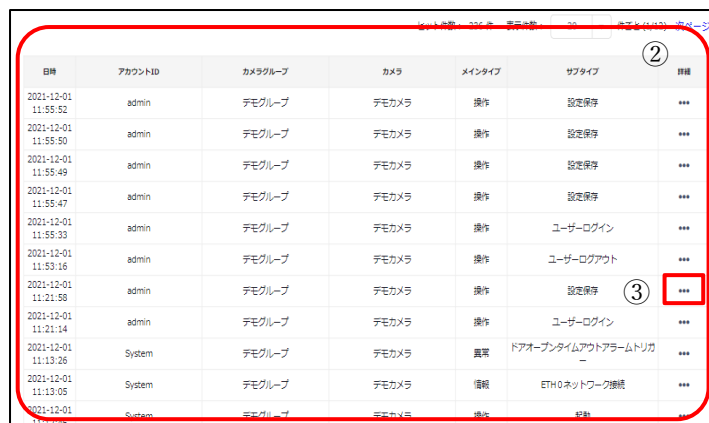
12-2. FaceFC ログ

Face FC ログでは、本サービスに接続されている Face FC での操作ログを確認できます。



① 「期間選択」、「アカウント ID」、「カメラグループ」、「カメラ選択」、「メインタイプ」、「サブタイプ」を指定し「検索実行」を行う。

※必須項目は期間のみとなります。



② 検索実行結果が表示されます。

日時	アカウントID	カメラグループ	カメラ	メインタイプ	サブタイプ	詳細
2021-12-01 11:55:52	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	設定保存	...
2021-12-01 11:55:50	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	設定保存	...
2021-12-01 11:55:49	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	設定保存	...
2021-12-01 11:55:47	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	設定保存	...
2021-12-01 11:55:33	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	ユーザーログイン	...
2021-12-01 11:53:16	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	ユーザーログアウト	...
2021-12-01 11:21:59	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	設定保存	...
2021-12-01 11:21:14	admin	デモグループ	デモカメラ	操作	ユーザーログイン	...
2021-12-01 11:13:26	System	デモグループ	デモカメラ	異常	ドアオープンタイムアウトアラームトリガー	...
2021-12-01 11:13:05	System	デモグループ	デモカメラ	情報	ETH0ネットワーク接続	...
2021-12-01 11:12:46	System	デモグループ	デモカメラ	操作	起動	...

③ 「詳細」の「…」ボタンで操作の詳細の確認をすることができます。



○参考画像

「設定保存」時の詳細確認時画面。

13. facet 設定

facet 設定画面では、利用している facet のバージョンを確認や、設定の確認・変更が可能です。ご利用されているオプション契約によっては表示される内容も変更になります。

13-1. facet バージョン

ご利用されている facet のバージョンを確認可能となります。

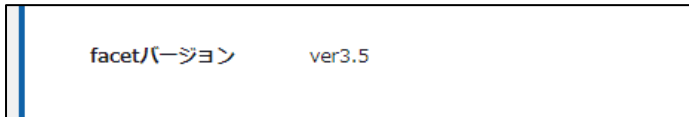


図 13-1-1

※設定内容については今後のアップデートにて追加される予定となります。

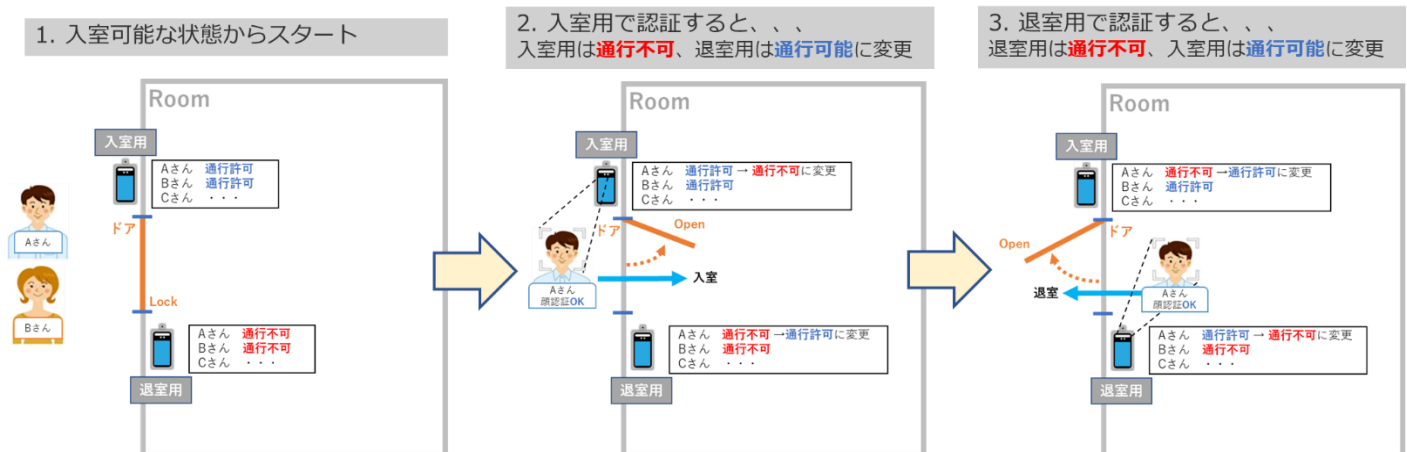
14. 【オプション】APB 機能（APB モード）

※APB モードはオプションメニューとなります。お申込み・お問い合わせは、弊社営業担当までご連絡ください。

※APB による認証制御を行う場合は、必ず FaceFC に登録するユーザーデータは facetCloud から実施する必要があります。「8. ユーザー登録・変更」に沿ってユーザー登録を実施して行ってください。

14-1. APB 機能とは

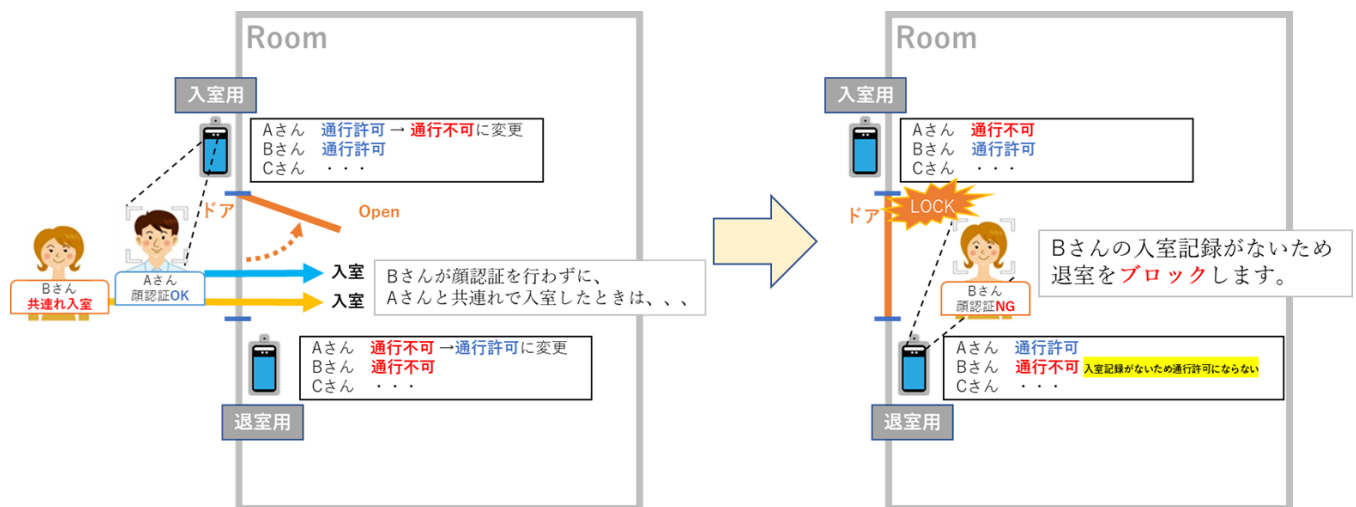
APB(アンチパスバック)とは、入室/退室する際の認証記録がない不審者の退室/入室を許可しない仕組みのことです。ドアが接続されている FaceFC に「入室用」・「退室用」の設定を行うことで、顔認証による APB が機能します。



「入室用」の FaceFC にて認証した記録がある場合のみ、「退室用」の FaceFC での通行を許可します。反対に、「退室用」の FaceFC で認証した記録がある場合のみ、「入室用」の FaceFC での通行が許可されます。

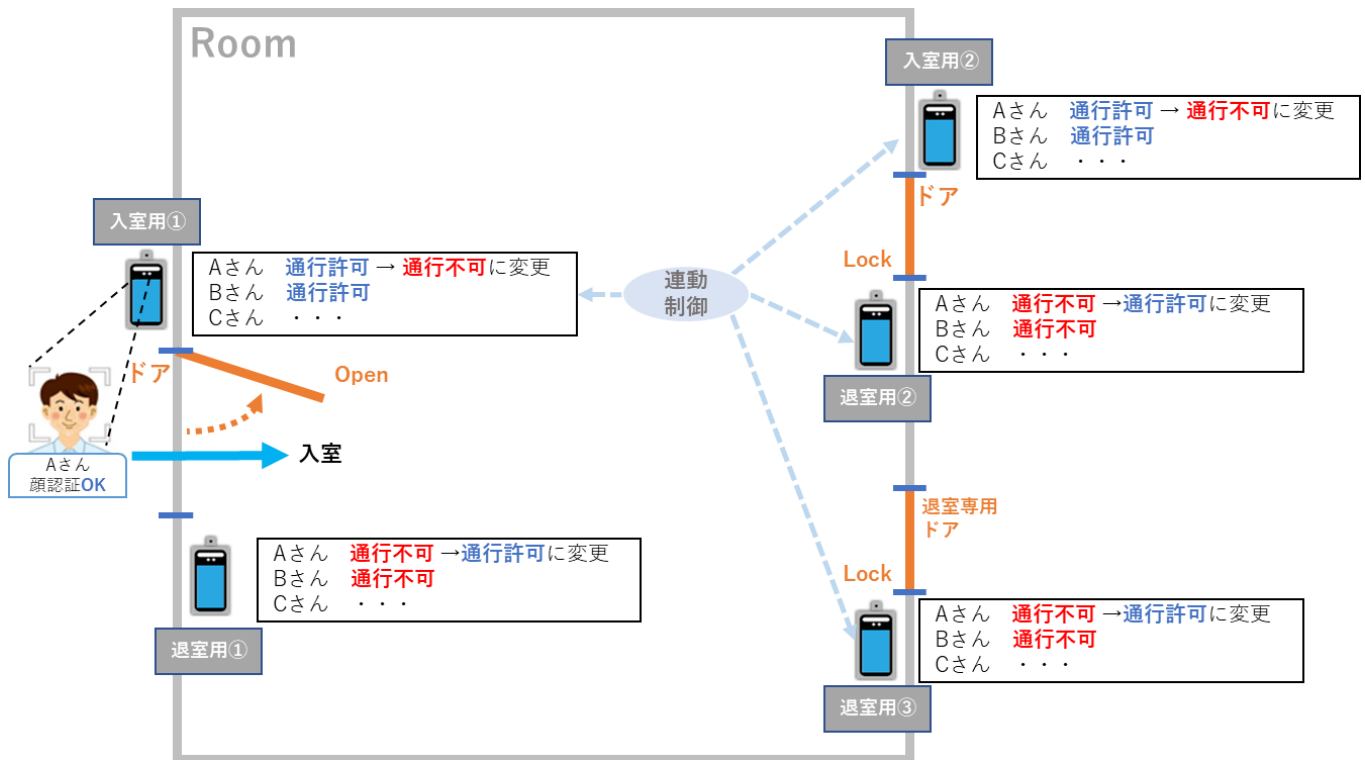
認証の徹底化/共連れ防止

こちらの機能を利用いただくことで、必ず認証を行わないとドアから出られなくなってしまうため、入退における認証動作の徹底や共連れを防止し、不審者の侵入や情報漏洩のリスクを軽減することができます。



複数台に対する連動制御に対応

複数ドアがある場合もリアルタイムに連動して制御できます。また、一部のドアを入室専用/退室専用として、使用する場合も対応が可能です。



アンチパスバック機能があると、認証動作の徹底を行うことができ、例えば、入室時に認証を行っていない（入室ログのない）人が居た場合、その人は不審者として扱われ、退室時に認証を行おうとしても通行が許可されません。とくに、セキュリティ要件の高い環境において推奨される機能です。

14-2. APB の設定

APB 機能を利用するためには、「端末設定」→「カメラ設定」→「編集」にて、使用するカメラに対して APB 設定を行う必要があります。

※カメラ設定の編集画面までは、「9-3 カメラ設定」と同様となります。

※APB モードにお申込みいただくことで、カメラ設定の編集画面に「APB 入退室設定」と「APB 設定」が表示されるようになります。

カメラの変更

シリアルNo 5L15X410392

名称

グループ ▼

No

① APB入退室設定 ▼

② APB設定 ☒ 有効

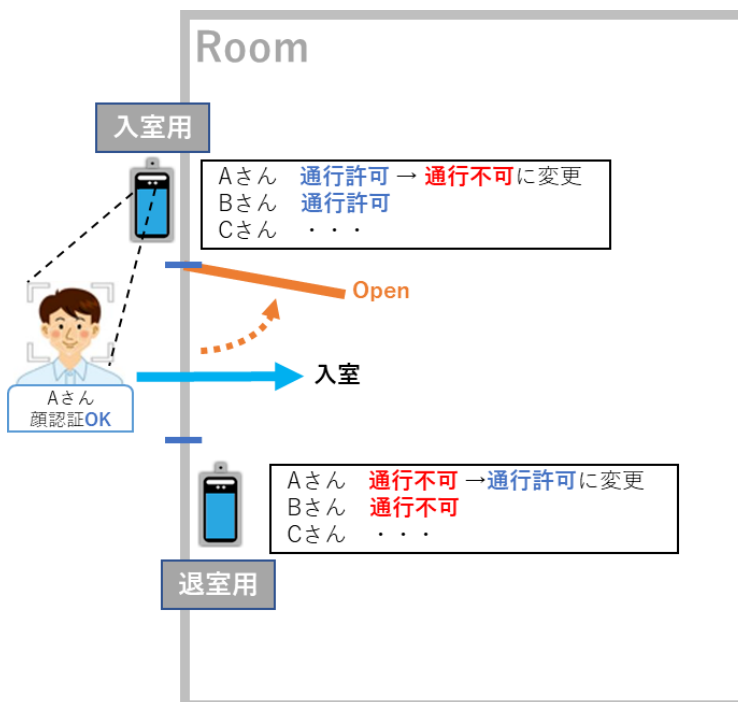
① APB 入退室設定では、APB 機能における

カメラの役割を選択します。「入室用」、「退室用」、「入室用（認証時 APB 制御なし）」の 3 つから選択します。各設定値の説明はページ下部を参照ください。

②「APB 設定」をチェック入れます。

※チェックを入れないと APB 入退室設定をしていても制御がされませんので、必ずチェックを入れてください。

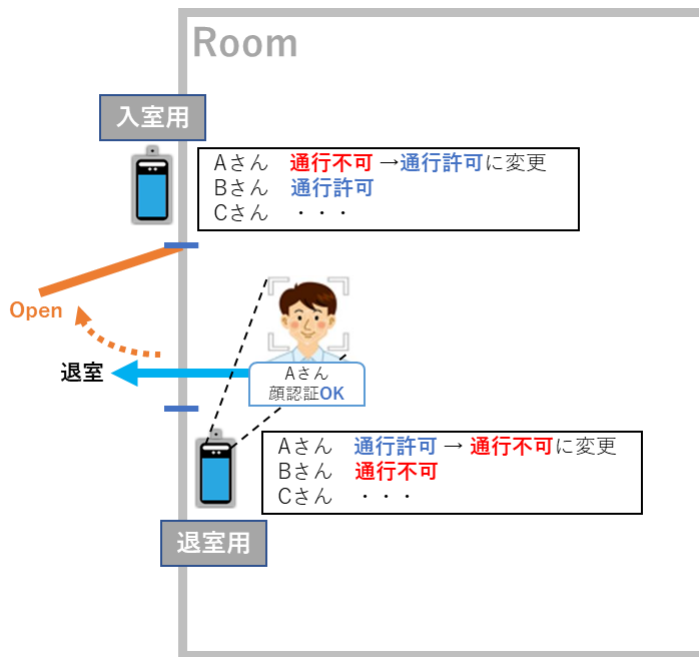
▼APB 入退室設定：「入室用」について



入口に設置するカメラに対して「入室用」の設定を行って下さい。「入室用」のカメラで認証が行われると、「退室用」のカメラを「通行許可」に、「入室用」のカメラを「通行不可」に設定します。

※APB 機能を使用するには、必ず 1 台は設定されている必要があります。

▼APB 入退室設定：「退室用」について



出口に設置するカメラに対して「退室用」の設定を行ってください。「退室用」のカメラで認証が行われると、「入室用」のカメラを「通行許可」に、「退室用」のカメラを「通行不可」に設定します。

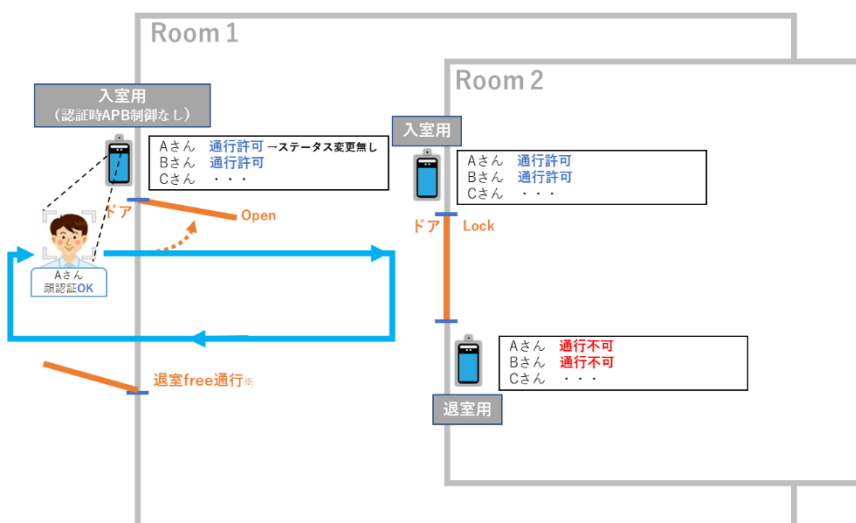
※APB 機能を使用するには、必ず1台は設定されている必要があります。

▼APB 入退室設定：「入室用（認証時 APB 制御なし）」について

※「入室用（認証時 APB 制御なし）」については、設定は必須ではございません。上記の「入室用」、「退室用」の設定がされていれば APB 機能は動作します。下記の機能説明をご確認いただき、利用する場合のみ設定してください。

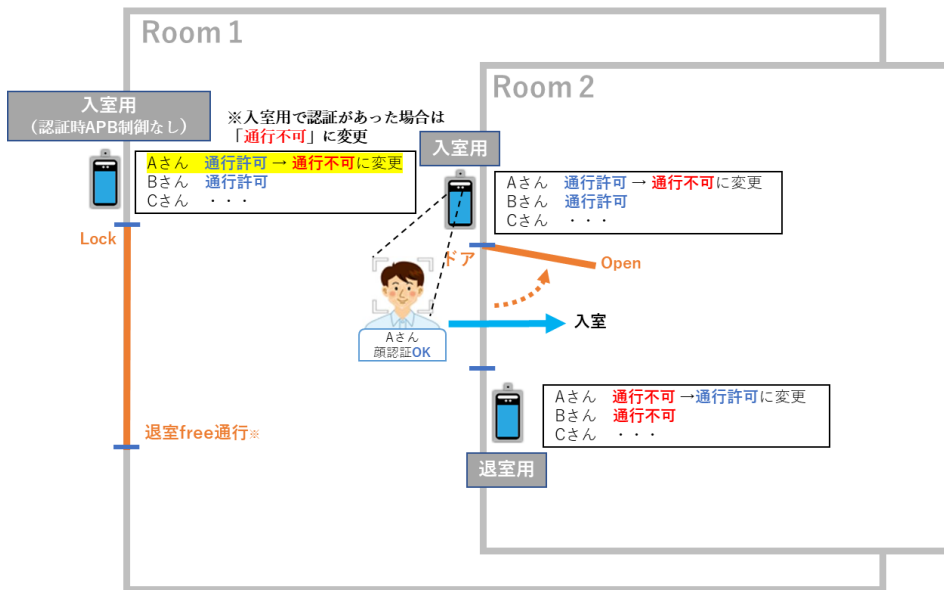
自動ドアなどでよく目にする、入室には認証が必要、退室はフリー(センサーによる自動開閉)にする場合などに利用できるモードです。認証時の APB 制御は下記になります。

① 「入室用（認証時 APB 制御なし）」にて認証を行った際の動作



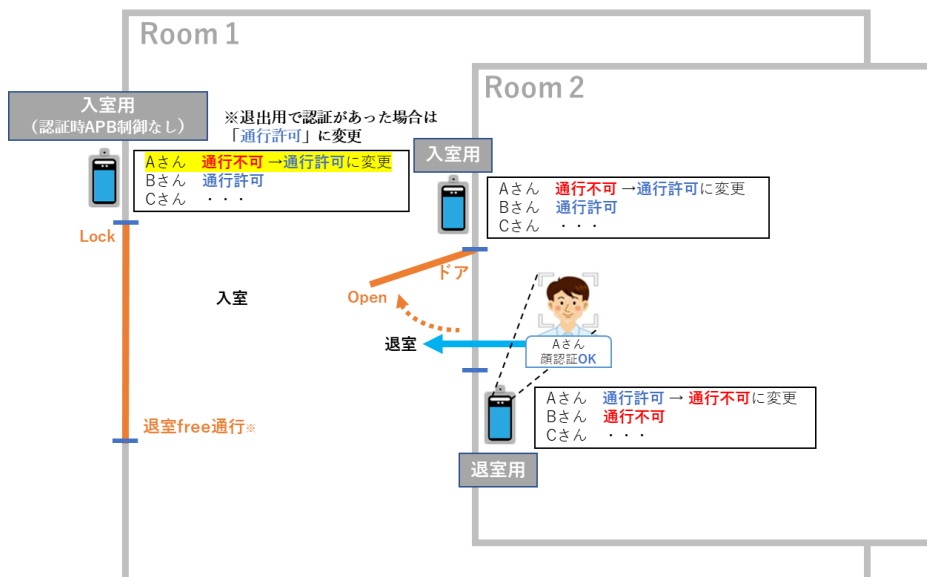
「入室用（認証時 APB 制御なし）」のカメラ自身で認証を行っても通行ステータスの変更は行われません。

② 「入室用」にて認証を行った際の「入室用（認証時 APB 制御なし）」の動作



「入室用」で認証を行った場合は APB 制御が実行され、「入室用（認証時 APB 制御なし）」は「通行不可」になります。

③ 「退室用」にて認証を行った際の「入室用（認証時 APB 制御なし）」の動作



「退室用」で認証を行った場合は APB 制御が実行され、「入室用（認証時 APB 制御なし）」は「通行許可」になります。

「退室用」で認証を行わずに退室を行った場合は、次回の「入室用（認証時 APB 制御なし）」での通行をブロックすることが可能です。

14-3. APB ログ一覧

APB ログ一覧画面では、人物の通行状況およびカメラへの APB 連動結果を確認できます。

① 認識カメラ

グループ選択 : デモグループ, 未登録

カメラ選択 : テストデバイス1, テストデバイス2, テストデバイス3

期間選択 : 2022/07/29 ~ 2022/08/05

② ログレベル : ☒ 全て ☐ 情報 ☐ 警告 ☐ エラー

ユーザーID :

③ APB連携先カメラ

グループ選択 : デモグループ, 未登録

カメラ選択 : テストデバイス1, テストデバイス2, テストデバイス3

④ ☒ APB連携先カメラなし

① 認識カメラでは認証を行われたカメラを指定し、絞り込みます。

② ログレベルではログの種別を指定します。

③ APB 連携先カメラでは、カメラで認証を行ったことにより、APB 連携*1をしたカメラの指定をします。

*1 入室カメラで認証時には連携先カメラ（退室用に設定されたカメラ）を通行許可にする等の連携

④ 「APB 連携先カメラなし」にチェックを入れると、連携先カメラがないログも表示することができます。

▼絞り込み後、「ログを表示」で指定の条件で絞り込まれたログが表示

日時	認識カメラ	ログ種別	詳細	ユーザーID	氏名	APB連携先カメラ
2022/08/05 15:33:12	テストデバイス1	104	デバイスへの通行許可情報の送信が正常に終了しました。	999	てすとばーそん	テストデバイス1
2022/08/05 15:33:11	テストデバイス1	103	クラウド上の通行可能状態設定を「通行拒否」としました。	999	てすとばーそん	テストデバイス1
2022/08/05 15:33:11	テストデバイス1	102	クラウド上の通行可能状態設定を「通行許可」としました。	999	てすとばーそん	

14-4. APB モード動作時のカメラ画面表示について

下記のカメラ画面表示は、APB 利用時特有の表示内容となります。

① 「通行不可」時のカメラ画面表示



APB 機能により「通行不可」となった場合は、画面上に「時間外のため開錠できません」と表示されます。

※遠隔開錠する場合は「6.リアルタイムモニタ」の開錠機能をご活用ください。

② APB 連携時のカメラ画面表示について



APB による通行許可/通行不可の切替時は、画面上に「登録中...」と表示されます。他の APB 対象機にて認証が行われると都度連携がされるため、操作をしていないときでも「登録中...」と表示されることがあります。

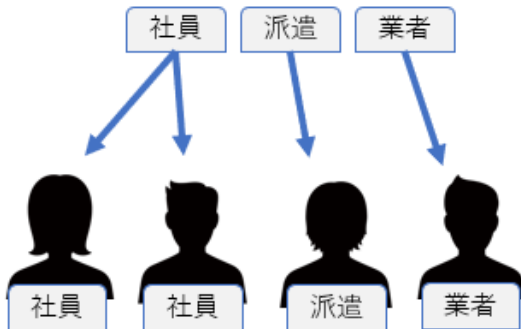
15. 【オプション】入退管理（入退管理モード）

※入退管理モードのお申込み・お問い合わせは、弊社営業担当までご連絡ください。

※以降の画面・機能については入退管理モードをご利用の方のみ閲覧・操作が可能となります。

15-1. 「入退管理機能」とは

入退管理機能は、ユーザーに対して「区分」（社員、派遣など自由に編集可能）の設定・管理が可能です。



例として「社員」、「派遣」、「業者」の3つの区分を登録し、facetCloudに登録しているユーザーへ付与

入室者/退室者/在室者の人数を区分ごとに把握

カメラに対して「入室用」「退室用」の設定を行うことで、入室者/退室者/在室者の人数を区分ごとに把握することができます。

例) 社員「入室」、派遣「在室」、業者「退室」の場合

▼「入室用」で認証 OK の場合は「入室者」、「退室用」で認証 OK の場合は「退室者」としてカウント



▼認証失敗(温度異常など)の場合は「入退室数」としてカウントされない



複数拠点の管理にも対応

カメラグループごとに、「入室用」「退室用」の設定が行えるため、複数拠点での入退管理も可能です。



※カメラグループを指定したログイン ID にて閲覧する場合は、指定されたカメラグループのみ閲覧可能となります。

時間帯を指定した在室者一覧・入退室履歴

現時点の在室者一覧だけではなく、過去の時間を遡って、指定した時間帯での在室者一覧や入退室履歴を確認することも可能です。

在室者一覧は、指定した期間内で入室履歴がある認証者を一覧で表示します。ただし、期間内に入室履歴が存在していても、期間内での最も直近の履歴が退室であれば、退室済み扱いとなるため表示されません。

※ログ一覧の「期間選択」と「検索時在室者」を使用します。

例) 「早出 (8～17 時勤務)」、「通常 (10～19 時勤務)」、「遅出 (11～20 時勤務)」がある場合

名前	入室時間	退室時間
早出 A	07:50	17:11
早出 B	07:55	17:10
通常 A	09:49	19:05
通常 B	09:55	19:08
通常 C	09:56	20:10
遅出 A	10:47	20:08
遅出 B	10:57	20:13

上記の 3 つの勤務形態があり、
左のような時間で出退勤のログが保存されていた場合、
「期間選択」を活用することによって、様々な条件下での在室者を確認することができます。

▼期間選択「2022/08/18 09:45 ～ 2022/08/18 18:00」で抽出した場合の在室者一覧

日時	カメラグル ープ	カメラ	認証方式	状態	ID/ゲスト	名前	ICカード番 号	区分	PASS	温度	マスク	スコア	画像/詳細情 報
2022/08/18 10:57:00	東京拠点	入室用デバイス	顔認証	入室	person8	遅出 B			OK	36.3℃	未着用	92.1%	
2022/08/18 10:47:00	東京拠点	入室用デバイス	顔認証	入室	person7	遅出 A			OK	36.3℃	未着用	96.0%	
2022/08/18 09:56:00	東京拠点	入室用デバイス	顔認証	入室	person2	通常 C			OK	39.7℃	未着用	0.0%	
2022/08/18 09:55:00	東京拠点	入室用デバイス	顔認証	入室	person1	通常 B			OK	36.3℃		0.0%	
2022/08/18 09:49:00	東京拠点	入室用デバイス	顔認証	入室	person3	通常 A			OK	36.5℃	未着用	0.0%	

※「早出」を出力したくない場合の期間選択になります。抽出されない理由は「9:45 より前に入室して 18:00 までには退室しているから」となります。早出 A や B も含めて抽出したい場合は、「入室前の時間～退室前の時間」を指定する必要があるため、「2022/08/18 07:45 ～ 2022/08/18 17:00」にすることで表示可能となります。

▼期間選択「2022/08/18 07:00 ～ 2022/08/18 19:30」で抽出した場合の在室者一覧

日時	カメラグループ	カメラ	認証方式	状態	ID/ゲスト	名前	ICカード番号	区分	PASS	温度	マスク	スコア	画像/詳細情報
2022/08/18 10:57:00	東京拠点	入室用デバイス	顔認証	入室	person8	遅出 B			OK	36.3℃	未着用	92.1%	
2022/08/18 10:47:00	東京拠点	入室用デバイス	顔認証	入室	person7	遅出 A			OK	36.3℃	未着用	96.0%	
2022/08/18 09:56:00	東京拠点	入室用デバイス	顔認証	入室	person2	通常 C			OK	39.7℃	未着用	0.0%	

※期間選択の開始時間は 7:00 なので、入室は全ての勤務体系が含まれている状態。終了時間が 19:30 となるので想定では「遅出」の認証者のみ表示されるが、残業で在室している「通常 C」も表示されます。

「期間選択」、「検索時在室者」を利用することで、様々な条件下での一覧表示に対応することができます。日々の勤務状態や、勤務形態から逸脱した履歴の抽出など、ニーズに合わせてご活用いただけます。

※今回追加された「区分」からログを絞り込むことが可能です。

※抽出は「ログ一覧」画面となるので、CSV での出力も可能となります。

15-2. 「区分」の登録

「区分」とは、facetCloud に登録されているユーザー単位で付与できるもので、入退管理機能においては区分を使用して在室者の確認や、ログの絞り込み条件で活用いただけます。

※最大登録数は 10 となります。

▼設定を行う場合は「facet 設定」画面で可能となります



▼新しく区分を追加等する場合は「登録」



① 登録

② 社員

登録

① 登録を選択

② 登録する区分名を入力し登録

▼既存の区分名を変更する場合は「更新」



① 更新

② 社員

③ 社員変更

更新

① 「更新」を選択

② 更新する区分を選択

③ 更新したい区分名を入力し更新

▼区分を削除する場合は「削除」



① 削除

② 社員

削除

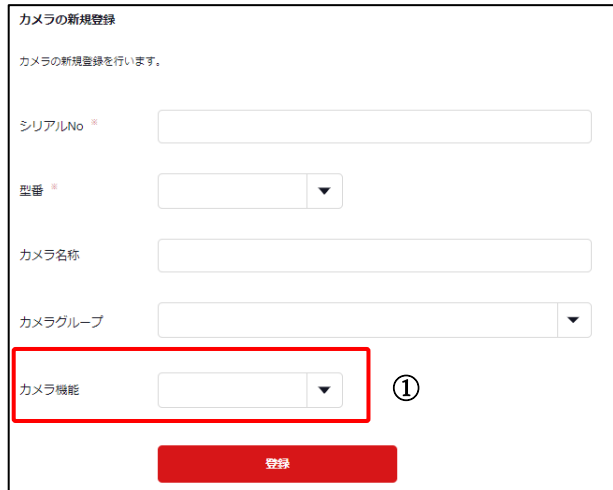
① 削除を選択

② 削除する区分を選択して削除

15-3. 「カメラ機能」の登録

入室用と退室用のどちらかを登録・変更をすることができます。カメラ機能を登録することで、入退管理画面へ反映することができます。

▼「登録」（端末メンテナンスのカメラ新規登録画面）



カメラの新規登録

カメラの新規登録を行います。

シリアルNo

型番

カメラ名称

カメラグループ

カメラ機能 ①

登録

①本サービスに接続している端末に入室用・退室用どちらかを登録できます。

※カメラ機能を付与する場合は、「カメラグループ」の指定も行ってください。

▼「変更」（端末設定のカメラ設定画面）



カメラの変更

シリアルNo 5C06R120005

名称 デモ検証機

グループ アクティブ

No 1

カメラ機能 入室 ②

②入室もしくは退室を登録できます。

※入室で登録したカメラで認証すると「入室者」、退室用カメラで認証すると「退室者」として反映されます。

※カメラ機能を付与する場合は、「カメラグループ」の指定も行ってください。

15-4. 入退管理画面について

入退管理画面では、グループごとの入退室や在室者を管理・確認することができます。

区分の登録及び区分をユーザーへ登録している場合は、区分ごとの在室者も確認可能となります。

※画面への反映を行う場合は「カメラグループ」、「カメラ機能」の登録が必要となります。

15-4-1 入退管理画面の確認

グループごとの入退室者、在室者を確認可能です。また、区分を登録している場合は、区分が登録されている分だけ区分ごとの在室者が表示されます。

※admin ログインユーザー以外での閲覧をする場合は、ログインユーザー作成時に指定したカメラグループ以外の入退室者は閲覧できません。



①確認するグループの選択

②グループ内の総合入退室/在室者

③区分ごとの在室者

※入退室者や在室者の集計は **10分** ごとに行われます。

15-4-2 入退数リセット時間の設定

入退管理画面で集計されている入退室の数をリセットする時間を、グループごとに変更することができます。

※デフォルトでは0時にリセットされます。

▼変更をする場合は「facet 設定」の画面より操作することができます。



①変更するグループを指定します。

②リセットする時間を指定します。

③保存で変更します

15-5. 「入退管理機能」による既存機能への影響

本サービスに接続している FaceFC や、人物の登録をする際にカメラ機能・区分を登録することで、前項の在室者数や入・退室者数を集計することができます。また、ログや人物を検索する際に、登録した区分ごとでの絞り込みも可能です。

15-5-1 ログ一覧への区分、状態、検索時在室者の追加

区分・カメラ機能での絞り込みができます。また、検索時の在室者の絞り込みもできます。



①認証した人物の区分で絞り込みます。

②検索時に在室している人物の認証ログを絞り込みます。

※チェックを入れると状態以降の条件は無視（グレイアウト）され、選択しているカメラ、期間内での在室者を検索します。

③端末に付与したカメラ機能の入口用もしくは出口用のどちらで認証したかを絞り込むことができます。

15-5-2 ユーザー登録・変更画面への区分の追加

▼「新規ユーザー登録」画面



①区分の登録ができます。

※任意項目です。未登録の場合は入退管理画面の区分ごとと在室者の集計対象外となります。

※区分を登録していない場合は付与できません。区分の登録については「15-2-4 区分の登録・更新・削除」を参照してください。

▼「ユーザー登情報一覧・変更」画面（ユーザーエクスポート、カメラデータ以降・当て変え画面も同様）



②区分での絞り込みができます。

※新規ユーザー登録同様、ユーザー変更画面でも区分の変更ができます。

16. AI カメラと facetCloud を連携する

本サービスと AI カメラを連携させるためには、FaceFC 端末と同様 facetCloud に接続を行う以外にも、あらかじめ AI カメラ側を設定する必要があります。本手引きをご確認いただきながら、AI カメラの設定を確認及び変更をしてください。

16-1. AI カメラへ SD カードを入れる

AI カメラ(ドーム型)のログ画像は、端末本体へ保存されません。(ログ情報は保存されます)

そのため、画像の保存・確認、ログの再送*を行うためには、AI カメラ本体へ SD カードを入れてください。SD カードを入れることで、管理画面上認証画像の確認等、facetCloud との連携を正しく行うことができます。

※AI カメラのオフライン時のログ取得は、定期的な同期処理ではなく再送処理となります。

16-2. Web 管理画面上での初期設定

本サービスとの連携を行うための事前準備として、AI カメラの Web 管理画面上で設定等を行います。

16-2-1 グループの作成

AI カメラにはユーザーを登録するための「グループ」が存在します。本サービスと連携し、ユーザーの登録や削除を行うために、グループを作成してください。

1. グループ作成画面を開く

AI カメラ Web 管理画面にログイン後、画面上部「設定」→画面左「スマート管理」→「認証管理」



番号	登録者グループ名	タイプ	作成時間	展開ステータス	顔認識閾値	比較上限	登録者グループ詳細
1	株式会社データ	ホワイトリスト	2022-11-10 10:09:40	ON	80	1	
2	TestGroup	ホワイトリスト	2022-11-23 23:33:44	ON	80	1	
3	未バインド顔情報						

2. グループの作成を行う

認証管理画面の右上「作成」をクリックし画面中央「登録者グループ作成」にて作成を行う

※編集部分は「登録者グループ名」のみで、任意のグループ名を設定可能です。



登録者グループ作成画面のスクリーンショット。タイトルは「登録者グループ作成」です。左側に「展開」のラジオボタン（「はい」が選択されている）と「いいえ」があります。中央には「登録者グループ名」の入力欄（赤枠で囲まれている）、「タイプ」のプルダウンメニュー（「ホワイトリスト」が選択されている）、「顔認証閾値」の入力欄（「80」が入力されている）、および「比較上限」の入力欄（「1」が入力されている）があります。右下には「キャンセル」と「確定」のボタンがあります。

16-2-2 再送設定

AI カメラでのオフライン時のログ取得の際には、FaceFC 端末のように定期的な同期処理ではなく、認証情報の再送設定を使用するので、設定を行います。

1. 再送設定画面を開く

AI カメラ Web 管理画面の上部「設定」→画面左「メモリー管理」→「メモリー管理」→メモリー管理画面上部「ネットワークストレージ」



AI カメラ Web 管理画面のスクリーンショット。上部には「レビュー」「録画再生」「画像」「システム」「設定（赤枠で囲まれている）」「アラーム」のタブがあります。左側のメニューには「ローカル管理」「システム管理」「画像管理」「ビデオとオーディオ」「スマート管理」「ネットワーク設定（赤枠で囲まれている）」「イベント管理」「メモリー管理（赤枠で囲まれている）」「プラン設定」「メモリー管理（赤枠で囲まれている）」「周辺機器設定」「プラットフォーム接続」があります。中央の「ネットワークストレージ」セクションには、「追加」（赤枠で囲まれている）、「削除」、「リセット」のボタンがあります。その下には「ストレージプロトコル」のプルダウンメニュー（「プロトコル 1: SDK」が選択されている）、「プロトコル名」の入力欄（「SDK」が入力されている）、および「転送再開」のチェックボックス（未チェック）があります。右下には「サーバアドレス」の入力欄と「デフォルト」「更新」「確定」のボタンがあります。

2. 再送設定追加のプロトコルを選択する

ネットワークストレージ画面の「追加」をクリック後、画面中央「プロトコル：HTTP クライアント」を選択し「確定」する



追加画面のスクリーンショット。タイトルは「追加」です。中央には「プロトコル」のプルダウンメニュー（「HTTPクライアント」が選択されている、赤枠で囲まれている）があります。右下には「キャンセル」と「確定」（赤枠で囲まれている）のボタンがあります。

3. 再送の設定を編集・保存を行う

ネットワークストレージ画面の「追加」をクリック後、画面中央「プロトコル：HTTP クライアント」を選択し「確定」する

※「サーバーアドレス」は、設定通知書に記載されている「WebUI：URL」の「ドメイン部分(xx.facet-cloud.com)」を入力



ディスクストレージ 連動アラーム **ネットワークストレージ**

追加 削除 リセット

ストレージプロトコル プロトコル 3: HTTPクライアント

プロトコル名 HTTPクライアント

☒ 転送再開

サーバーアドレス 192.168.1.1

デフォルト 更新 **確定**

16-2-3 メモリーカードのフォーマット

メモリーカードを一度フォーマットし、初期化の状態にしてから使用開始をします。

1. AI カメラ Web 管理画面の上部「設定」→画面左「メモリー管理」→「メモリー管理」→メモリー管理画面上部「ディスクストレージ」→フォーマットを行うメモリーカードを選択して「フォーマット」を選択する



レビュー 録画再生 画像 システム **設定** アラーム

ローカル管理 システム管理 画像管理 ビデオとオーディオ スマート管理 ネットワーク設定 イベント管理 **メモリー管理** プラン設定 メモリー管理 周辺機器設定 プラットフォーム接続

ディスクストレージ 連動アラーム ネットワークストレージ

録画ストレージ ON 画像ストレージ ON

容量がない場合 上書き 緊急保存 OFF

ディスク 1: 正常;

	ディスク	パーティション	容量	残り容量	ステータス	属性	取り出す
☒	ディスク 1	パーティション 1	60282.3M	6648M	正常	読み書き	

デフォルト 更新 **フォーマット** 確定

2. フォーマットを実行する



ディスク	パーティション	容量	残り容量
ディスク 1			548M

フォーマット

⚠️ ディスクをフォーマットして再起動しますか？

キャンセル **確定**

※フォーマット実行後は AI カメラ自体に再起動が走ります

→フォーマットが完了したら、上記「ディスクストレージ」画面の青枠「画像ストレージ」を「ON」にする

16-2-4 AI カメラの日付設定

AI カメラの時刻設定を行います。

1. AI カメラ Web 管理画面の上部「設定」→画面左「システム管理」→「システム設定」→システム設定画面上部「日付」→日付画面の「PCと同期」をクリックし「システム時間」が PC の時間（日本時間）と一致したことを確認してください



2. NTP 設定を変更する（下記参照）

NTP サーバ : ntp.nict.jp

ポート : 123

同期間隔 : 任意



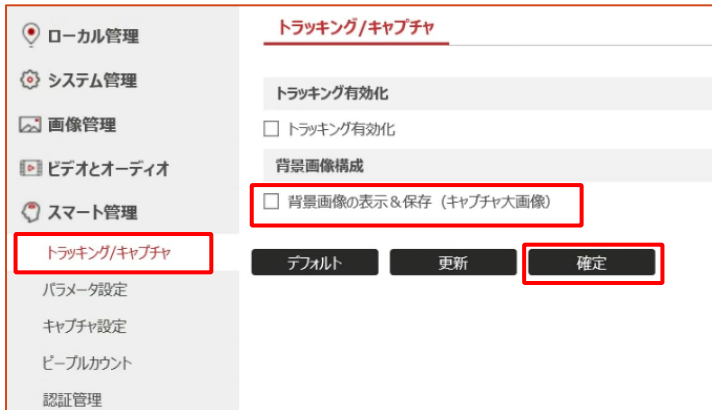
16-2-5 認証時の設定

AI カメラで検出及び認証を行う閾値等のパラメータ設定を行います。（スマート管理画面での設定となります）

0. AI カメラ Web 管理画面の上部「設定」→画面左「スマート管理」



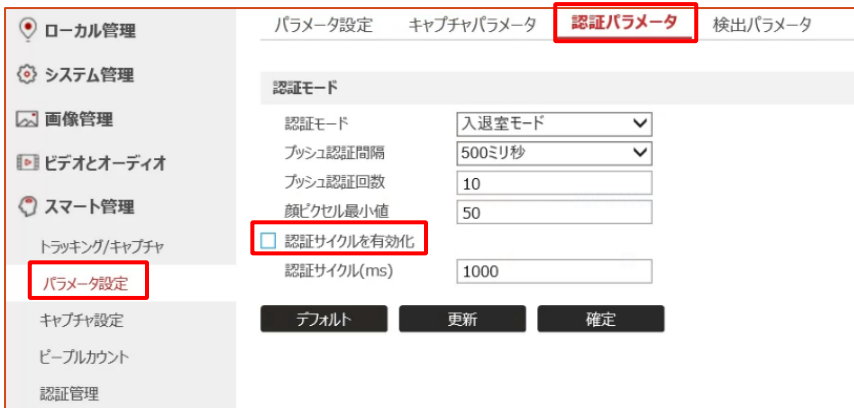
1. 「トラッキング/キャプチャ」にて「背景画像の表示&保存…」のチェックを外し「確定」する



2. 「パラメータ設定」→「パラメータ設定」にて「検出モード」のチェックを外し「認証モード」のチェックを入れて「確定」する



3. 「パラメータ設定」→「認証パラメータ」にて「認証サイクルを有効化」のチェックを外し「確定」する



4. 「パラメータ設定」→「検出パラメータ」にて下記の値で「確定」する



※上記のパラメータから逸脱してしまった場合、厳しすぎるパラメータでは認証がされなくなってしまう、寛容にしすぎてしまうと顔認証の精度が落ちてしまいます。

16-3. WebSocket の接続

AI カメラと facetCloud を連携するための設定を行った後は WebSocket 及び HTTP リバースの接続を行います。

基本的には FaceFC 端末と同様の接続手順で接続を行うことで接続可能です。

本書の「2. facetCloud の利用開始するために」をご確認いただき、「2-3. FaceFC を設定する」については、AI カメラの画面と異なりますので、下記手順を参照の上、AI カメラでの設定を行ってください。

1. AI カメラ Web 管理画面にログイン後、画面上部「設定」→画面左「プラットフォーム接続」→「WebSocket 登録」



2. 「有効化」のチェックと、「サーバアドレス」へのアドレス入力を行い「確認」で保存を行う

※入力するサーバアドレスは FaceFC 端末同様、契約時に発行される設定通知書をご参照ください。

■FaceFC WebSocket登録 サーバアドレス	
サーバアドレス	wss://xxx.facet-cloud.com/ws/device

16-4. AI カメラで利用できる機能

本サービスと AI カメラとの連携は一部制限があります。AI カメラが利用できる WebUI の機能については、下記を参照してください。

メイン	サブ	対応可否	備考
ダッシュボード		○	マスクと温度は非対応のため、統計にはカウントされません
入退管理		○	
リアルタイムモニタ		○	
ログ一覧		○	マスクと温度は非対応のため、絞り込みができません
ユーザー登録・変更	新規ユーザー登録	○	カード情報は非対応のため、クラウド側のみに登録されます
	ユーザー情報一覧・変更	○	通行可能時間帯は非対応のため、クラウド側のみ登録されます
	一括ユーザー登録	-	
	ユーザーデータのエクスポート	-	
	カメラデータ移行・当て変え	▲	「全て消去して入れ替え」は非対応となります
APB ログ一覧		×	通行可能時間帯は非対応のため対応できません
勤怠ログ一覧		×	勤怠ボタンとの連携ができないため対応できません
端末設定	カメラグループ設定	-	
	カメラ設定	○	
	認証関連基本設定・更新	×	FaceFC との設定値が異なるので対応できません
	認証関連設定割当	×	FaceFC との設定値が異なるので対応できません
	システム基本設定・更新	×	FaceFC との設定値が異なるので対応できません
	システム設定割当	×	FaceFC との設定値が異なるので対応できません
	アラーム設定	▲	マスクと温度が非対応のため、通知は未登録者か NO PASS のみとなります
端末メンテナンス	カメラ接続初期化	○	
	カメラ新規登録	○	
	カメラ削除	○	
ログイン ID 管理		-	
操作ログ		▲	「FaceFC ログ」は非対応のため確認ができません
facet 設定		-	
ヘルプ		-	

17. TeamSpirit 連携

※TeamSpirit 連携のお申込み・お問い合わせは、弊社営業担当までご連絡ください。

※以降の画面・機能については TeamSpirit 連携をご利用の方のみ閲覧・操作が可能となります。

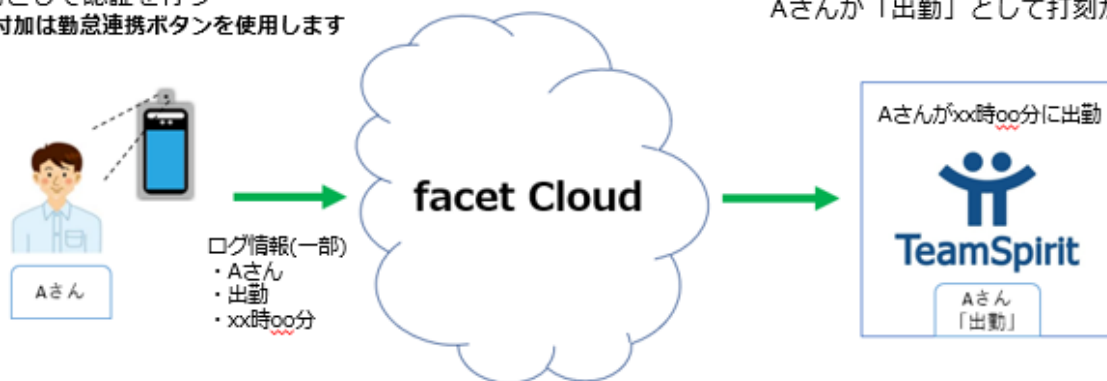
※TeamSpirit の機能として、「リアルタイム」で打刻を行う方法と、「バッチ処理で定期的」に打刻を行う方法があります。設定は初回構築時に行いますので、運用後の変更はできません。区別や注意事項等については次項目を参照してください。

17-1. TeamSpirit 連携との連携について

TeamSpirit 連携では、クラウド勤怠サービス「TeamSpirit」との連携が可能となります。本サービスに接続されたカメラで認証を行い、認証された情報で出勤や退勤の打刻を行うことが可能です。

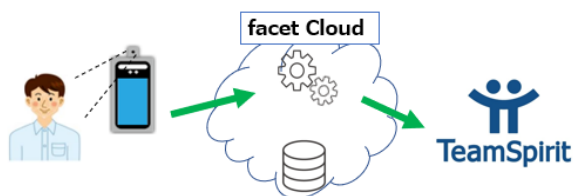
Aさんが出勤として認証を行う
※勤怠情報の付加は勤怠連携ボタンを使用します

Aさんが「出勤」として打刻がされる



3 つの打刻の手段

1. リアルタイム打刻

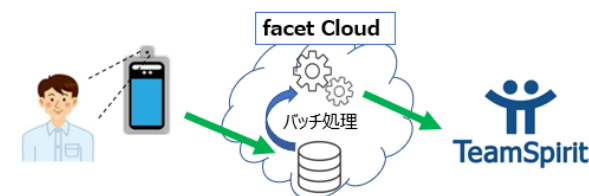


カメラで認証を行った後に、リアルタイム*で打刻が実施されます。

(初回申し込み時にリアルタイムに設定した場合の処理です)

※処理実施から勤怠への反映までに 5 分前後のタイムラグが発生します

2. バッチ処理での打刻



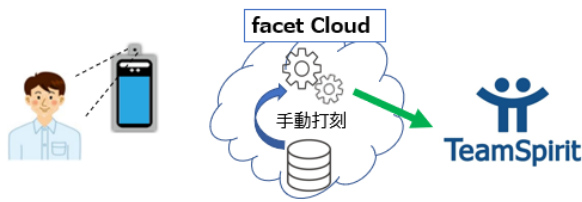
カメラで認証を行った後、打刻を実施せずに、データベースへ保存されます。

定期的なバッチ処理*により、未実施分のログを一括で打刻実施します。

(初回申し込み時に非リアルタイムで設定した場合の処理です)

※バッチ処理は 1 時間間隔で毎時 10 分に行われます

3. 手動での打刻

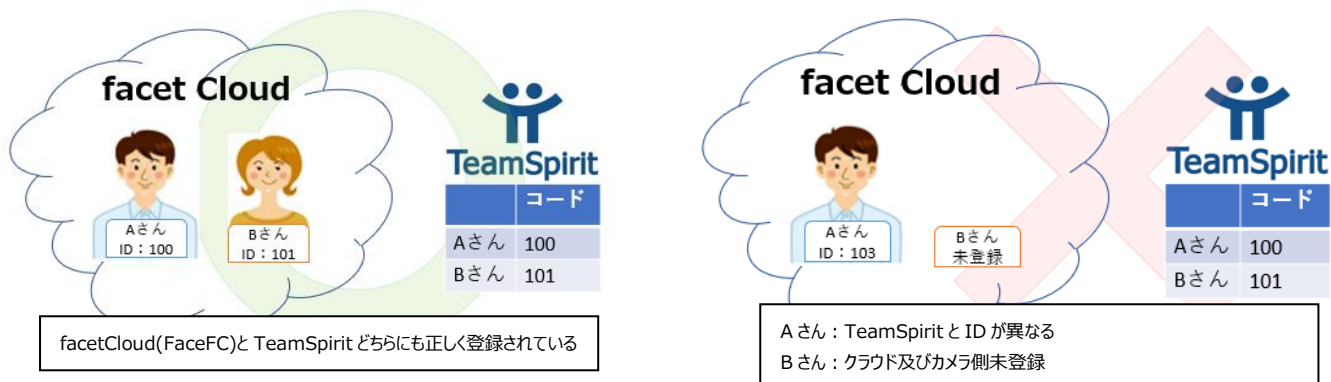


データベースへ保存されている、「打刻未実施のログ」や「連携実施時にエラーが発生してしまったログ」を手動で打刻を行うことができます。
手動での打刻方法については「17-2-1 再連携の実施」をご参照ください。

次項目より連携時の必要事項について紹介します。

TeamSpirit に紐づくユーザーの登録

打刻を行うユーザーを指定する場合、本サービスに登録されているユーザーIDと TeamSpirit 側に登録されている社員コードを統一していただく必要があります。そのため、TeamSpirit 側での社員コードを参照していただき、本書「8-1. 新規ユーザー登録」をご参考の上、ユーザー登録を行ってください。



※**認証を行う際は、カメラ側にも登録されている必要があります。**新規ユーザー登録時にカメラの指定を行わなかったもしくはカメラへの登録が失敗してしまった場合は、「8-5. カメラデータ移行・当て変え」をご利用ください。

※本サービス及び認証カメラに登録されている ID は「TeamSpirit 側のコードに合わせて」ご登録ください。

勤怠ボタンの連携

TeamSpirit 側へ出勤や退勤の情報を付加するためには、認証するカメラに勤怠ボタンを接続する必要があります。

勤怠ボタンを利用した連携及び勤怠ボタンの購入については、弊社営業にご確認ください。勤怠ボタン連携時の各ボタンに対する連携項目の順番等も変更が可能です、併せてご確認ください。

連携ユーザーアカウント情報の設定（初期設定）

TeamSpirit と連携を行う際は、TeamSpirit 内に存在しているアカウントで OAuth 認証を行い、打刻を行います。連携を行うためには OAuth 認証用のユーザーを作成いただき、「facet 設定」にて設定をお願いします。（「17-3 連携用アカウント情報設定」参照）

リアルタイム打刻とバッチ処理での打刻について

勤怠連携を行う際は、TeamSpirit 側の API をコールしており、その API コール数については上限が設定されています。リアルタイム打刻の場合でも、基本的には制限数を超えることはない仕様となっておりますが、別途お客様環境にて TeamSpirit の API を実行する場合については、「バッチ処理での打刻」にさせていただくことで、本サービス側での API コール数を抑えることが可能です。

なお、API コール上限数についてはお客様環境の TeamSpirit の契約により異なりますので、ご確認される場合は TeamSpirit へのお問い合わせをお願いいたします。

17-2. 勤怠ログ一覧

TeamSpirit との連携を行った際のログについては、「勤怠ログ一覧」で確認が可能です。また、リアルタイムでの連携を行わない場合*や、連携時にエラー等が発生し連携が正しくできなかった場合には、この画面から手動連携(再連携)を行うことが可能です。

※初回構築時の設定で「バッチ処理で定期的」に打刻を行う処理の場合

▼「勤怠ログ一覧」画面（絞り込み条件）



勤怠ログも絞り込みを行うことが可能です。

▼「勤怠ログ一覧」画面（検索結果表示）

表示件数: 20 件ごと (1/3) [次ページ](#)

この一覧に出ているデータについて [全て選択](#) / [全て解除](#)

打刻日時	認識カメラ	ログ種別	ユーザーID	氏名	勤務種別	詳細
2022/12/13 09:40:14	検証デバイス235	I01	0004	テストユーザー 3	出勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
2022/12/13 08:51:16	検証デバイス235	I01	0007	テストユーザー 6	出勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
2022/12/13 08:46:23	検証デバイス235	I01	0012	テストユーザー 1 1	出勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
2022/12/13 08:39:24	検証デバイス235	I01	0011	テストユーザー 1 0	出勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
2022/12/12 20:28:36	検証デバイス235	I01	0014	テストユーザー 1 2	退勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
2022/12/12 19:20:41	検証デバイス235	I01	0021	テストユーザー 1 4	退勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
2022/12/12 18:36:24	検証デバイス235	I01	0025	テストユーザー 2 2	退勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
2022/12/12 18:01:43	検証デバイス235	I01	0012	テストユーザー 1 1	退勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。

検索した結果が表示されます

17-2-1 再連携の実施

連携ができなかった勤怠ログは再連携を行います。

1. 検索結果内の再連携したいログ左側のチェックボックス*をチェックする

※「全て選択/全て解除」で一括選択が可能です。

※チェックボックスが表示されるのは「再連携可能なログのみ」となります

この一覧に出ているデータについて **全て選択 / 全て解除**

	打刻日時	認識カメラ	ログ種別	ユーザーID	氏名	勤務種別	詳細
	2022/12/13 09:40:14	検証デバイス235	I01	0004	テストユーザー 3	出勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
☒	2022/12/13 08:51:16	検証デバイス235	E02	0007	テストユーザー 6	出勤	連携処理に失敗しました。
☒	2022/12/13 08:46:23	検証デバイス235	I04	0012	テストユーザー 1 1	出勤	未連携のログとして保存しました。
	2022/12/13 08:39:24	検証デバイス235	I01	0011	テストユーザー 1 0	出勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
	2022/12/12 20:28:36	検証デバイス235	I01	0014	テストユーザー 1 2	退勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
	2022/12/12 19:20:41	検証デバイス235	I01	0021	テストユーザー 1 4	退勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。

2. 「連携処理を実行する」をクリックする

	2022/12/09 19:09:36	検証デバイス235	I01	0025	テストユーザー 2 2	退勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
	2022/12/09 18:01:52	検証デバイス235	I01	0012	テストユーザー 1 1	退勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
	2022/12/09 10:28:12	検証デバイス235	I02	0021	テストユーザー 1 4	出勤	バッチでの連携処理が完了しました。

連携処理を実行する

再連携実行後、該当のログは「WebUI での連携処理が完了しました。」となります。

この一覧に出ているデータについて **全て選択 / 全て解除**

	打刻日時	認識カメラ	ログ種別	ユーザーID	氏名	勤務種別	詳細
	2022/12/13 09:40:14	検証デバイス235	I01	0004	テストユーザー 3	出勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
	2022/12/13 08:51:16	検証デバイス235	I03	0007	テストユーザー 6	出勤	WebUIでの連携処理が完了しました。
	2022/12/13 08:46:23	検証デバイス235	I03	0012	テストユーザー 1 1	出勤	WebUIでの連携処理が完了しました。
	2022/12/13 08:39:24	検証デバイス235	I01	0011	テストユーザー 1 0	出勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。
	2022/12/12 20:28:36	検証デバイス235	I01	0014	テストユーザー 1 2	退勤	リアルタイムでの連携処理が完了しました。

17-3. 連携用アカウント情報設定

勤怠連携を行う際の TeamSpirit のユーザーアカウントを登録します。

(注意) 登録したアカウントが TeamSpirit 側で無効となったもしくは削除がされた、ログインパスワードが変更された場合については、OAuth 認証ができなくなり勤怠連携時にエラーが発生します。そのため、通常ユーザーとは別に、連携用アカウントを作成いただき、ここでの登録を行ってください。

▼「facet 設定」の「TeamSpirit 連携情報」

TeamSpirit連携情報 ① 連携条件

☐ 通行許可でなくても顔認証の結果で連携を行う

② ユーザー名

連携API実行アカウントのユーザー名

④ OAuth確認

③ パスワード

連携API実行アカウントのパスワード

⑤ 保存

- ① 認証したが通行許可ではない場合（温度異常等）でも、ID が特定できている場合は打刻を行うかどうかの設定です
- ② 連携アカウントのユーザー名を入力します
- ③ 連携アカウントのパスワードを入力します
- ④ 入力したアカウント情報で OAuth 認証ができるかの確認を行うことができます*
- ⑤ 入力した情報を保存します

※確認のみなので、「保存」を行うことで情報の保存が可能です。確認時の判定については下記図を参照してください。

▽認証 OK



▽認証 NG



18. お問い合わせ先

製品仕様、ファームウェアアップデート、その他製品に関するお問い合わせは、担当営業へお問い合わせください。（参照：1-4）

EOF.



DataScope, Inc.2023

